



キヤノン ハンディターミナル PRea ST-300

使用説明書

Ver. 3.00

はじめに	1
1. 安全にお使いいただくために	2
日常の取り扱いについて	2
リチウムイオンバッテリーパックについて	4
無線通信機能について	5
USB 通信クレードルおよび 4 連充電クレードルについて	6
良い状態で長い期間ご使用いただくために	7
保守および点検について	7
耐環境性能について	8
電波障害自主規制について	8
液晶パネルについて	9
バッテリーパックはキヤノン純正品をおすすめします	9
廃棄について	9
ご不明な点や修理に関するご相談	9
2. HT の各部の名称と機能	10
HT の構成品について	10
各部の名称と機能	11
3. ご使用の前に	13
バッテリーパックの充電	13
バッテリーパックの取り付け	14
電源のオン/オフ（サスペンド）について	17
■電源オン	17
■電源オフ（サスペンド）	17
■シャットダウン	18
HT の初期設定	19
バッテリーパックとバックアップバッテリーについて	21
■残り容量の確認方法	21
■バッテリーパックの交換時期について	23
■バックアップバッテリーの交換時期について	23
■バッテリーパックの特性について	24
■バックアップバッテリーの特性について	24
■リチウムイオンバッテリーパックのリサイクルについて	24
4. スキャナーを使用する	25
コードの読み取り（スキャン）操作	25
■レーザースキャナーモデル ST-300L のご使用上の注意	26
■2次元コードスキャナーモデル ST-300S のご使用上の注意	26
5. USB 通信クレードル CR-15U を使用する	27
USB 通信クレードルの構成品について	27
各部の名称と機能	28
USB 通信クレードルの設置方法	29
■USB 通信クレードルに AC アダプターを接続する	29
バッテリーパックの充電	30
■HT に取り付けられたバッテリーパックを充電する	30
■バッテリースロットでバッテリーパックを充電する	32
USB 通信を使用する	33

■USB ケーブルによる PC との接続.....	33
■USB メモリーの接続.....	34
6. 4 連充電クレードル MC-15 を使用する.....	35
4 連充電クレードルの構成について.....	35
各部の名称と機能.....	36
4 連充電クレードルの設置方法.....	37
■4 連充電クレードルに AC アダプターを接続する.....	37
バッテリーパックの充電.....	38
■HT に取り付けられたバッテリーパックを充電する.....	38
■バッテリースロットでバッテリーパックを充電する.....	40
7. 無線通信機能を使用する.....	41
無線 LAN 通信.....	41
Bluetooth 通信.....	41
8. メモリーカードを使用する.....	42
■メモリーカードを取り付ける.....	42
■メモリーカードを取り外す.....	43
9. こんなときには.....	45
10. 製品仕様.....	48
■基本仕様.....	48
■インターフェース.....	50
■使用環境.....	50
11. 消耗品/オプション一覧.....	51
消耗品.....	51
オプション品.....	52
■充電・通信関連品.....	52

登録商標について

- Bluetooth、および Bluetooth ロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、キヤノン電子株式会社はライセンスに基づいて使用しています。
- Microsoft[®]、Windows[®]、Microsoft[®] Windows[®] Embedded Compact 7、Microsoft[®] ActiveSync[®] は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- microSD カードは、SD Card Association の商標です。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、記載しているブランドおよび製品名は、各社の登録商標または商標です。

本製品を国外へ持ち出すときは

本製品には、無線通信モジュールが内蔵されています。

日本国以外では、その国や地域の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国や地域では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

お客様へのお願い

この使用説明書（以下、本書）には、製品の特長を十分にご理解いただき、正しくお取り扱いいただくための、基本的な説明が記載されています。製品をご使用になる前に、必ずお読みください。また、本書はいつでも使用できるように、大切に保管してください。

- (1) 本製品を用いたシステムの運用結果につきましては、責任を負いかねます。
- (2) 本書の内容の一部または全部の無断転載は禁止されています。
- (3) 本書を作成するにあたっては万全を期しておりますが、お気付きの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本書の内容は、ソフトウェアの改訂などの理由により、予告なく変更されることがあります。

キヤノン電子株式会社

はじめに

このたびは、キヤノン ハンディターミナル プレア ST-300をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。プレア ST-300は、汎用OS であるWindows Embedded Compact 7を搭載した業務用モバイル端末です。汎用OSによるプログラム開発の効率向上とともに、多様化するアプリケーションへ柔軟に対応いたします。また、無線通信モジュールを内蔵しコンピューターなどの機器とワイヤレスでデータの送受信が可能です。

[特徴]

- 1.5m 落下に耐える耐衝撃性。
- OS に、Windows® Embedded Compact 7 を採用。
- 高速 800MHz の CPU を採用。
- 画面サイズ 2.7 型の QVGA 半透過型カラーTFT 液晶にタッチパネルを搭載。
- 暗いところでも使用可能な液晶部バックライトと照光式テンキーを装備。
- Bluetooth を内蔵。Bluetooth 標準規格に対応したコンピューターなどの機器とワイヤレスでデータの送受信が可能。
- 無線 LAN の搭載により、高速のワイヤレス通信が可能。
- スキャナー搭載により、JAN 等の対応コード読み取りに対応。
- IP64 準拠^{※1}

※1：IEC 規格 529 に基づいて規定された固形物や水に対する異物侵入保護等級表示のことです。

塵埃に対する保護レベル：6（粉塵が内部に侵入しない）と水に対する保護レベル：4（いかなる方向からの水の飛沫を受けても有害な影響がないもの）を持ち合わせています。

本書では、説明文の簡略化のために次のように表現しています。

製品	「ハンディターミナル ST-300」、「リチウムイオンバッテリーパック BA-20」、「USB 通信クレードル CR-15U」および「4 連充電クレードル MC-15」の 4 製品を指す場合に使用します。
HT	「ハンディターミナル ST-300」を指す場合に使用します。
バッテリーパック	「リチウムイオンバッテリーパック BA-20」を指す場合に使用します。
バックアップバッテリー	「メモリーバックアップ用ニッケル水素蓄電池」を指す場合に使用します。
クレードル	「USB 通信クレードル CR-15U」および「4 連充電クレードル MC-15」の 2 製品両方を指す場合に使用します。
USB 通信クレードル	「USB 通信クレードル CR-15U」のみを指す場合に使用します。
4 連充電クレードル	「4 連充電クレードル MC-15」のみを指す場合に使用します。
コード	スキャナーが読み取るバーコードや二次元コードを指す場合に使用しません。電力を供給するためのコードを指す場合には「電源コード」と表記しています。

1. 安全にお使いいただくために

電気製品は、正しく取り扱わないと思わぬ事故や火災、感電の原因になります。製品は万全を期して設計されていますが、次の警告事項および注意事項は、必ずお守りください。また、本書に記載されていない操作は行なわないでください。

本書では、誤った使い方をしたときに生じる危険および損害の程度を、次のように区分しています。



警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負うおそれのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負うおそれのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

注意

取り扱いを誤った場合に、物的損害が発生するおそれのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

日常の取り扱いについて



警告

- 製品を分解したり、改造したりしないでください。
- 製品をアルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに置かないでください。
- 製品の近くで可燃性のスプレーを使用しないでください。
- 製品を湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
- 製品の内部に、水や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）などの液体や、金属片（クリップやステープラーの針など）、シャープペンシルの芯などの異物が入らないようにしてください。
- 製品の上に、液体の入った容器（コップ、花瓶、植木鉢など）やネックレスなどの金属物を置かないでください。

火災や感電の原因になります。

万一、HT の内部に液体や異物が入ってしまった場合は、ただちに HT の電源をシャットダウンし、バッテリーパックを HT から取り出してください。また、クレードルの内部に液体や異物が入ってしまった場合は、ただちにクレードルの使用を中断し、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

警告

- HT から異常な音・煙・発熱・異臭が発生したり、電源を入れても HT が動かないなどの異常が発生したりした場合は、ただちに HT の電源をシャットダウンし、バッテリーパックを HT から取り出してください。
- クレードルから異常な音・煙・発熱・異臭が発生した場合は、ただちにクレードルの使用を中断し、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
- 製品を落としたり、硬いものにぶついたりといった強い衝撃を与えないでください。万一、HT が破損した場合は、ただちに電源をシャットダウンし、バッテリーパックを HT から取り出してください。また、クレードルが破損した場合は、ただちにクレードルの使用を中断し、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
- HT のタッチパネルが破損し、内部の液体（液晶）が漏れてきてしまった場合は、絶対に素手で触ったり口や目に入らないようにしてください。誤って液体（液晶）が口や目に入ってしまった場合は、ただちに石鹸で洗い流し医師に相談してください。また液体（液晶）が手や衣服などについてしまった場合は、ただちに石鹸で洗い流してください。
- 製品は微弱な磁気を出しています。心臓ペースメーカーをご利用の方は、異常を感じたらただちに製品の使用を中止し、医師に相談してください。
- スキャナーから照射されるレーザー光やマーカを人体や目に向けて照射しないでください。レーザー光やマーカは人体や目に有害となる恐れがあります。

注意

- 製品を不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いたところなど）や、振動の多い場所には置かないでください。
- 製品の上に重いものを載せないでください。製品や載せたものが落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

注意

- タッチパネルの上に砂やゴミなどを落とさないでください。
- タッチパネルは爪先や先の尖ったもので押さないでください。誤動作や故障の原因になることがあります。万一異物がタッチパネルと本体の間に挟まった場合は、歯ブラシなどで異物をかき出してください。
- タッチパネルの外枠周辺は、強い力を加えないようにしてください。HT の構造上耐久性が弱く、破損の恐れがあります。
- HT を長時間お使いになるときは、健康のために 1 時間ごとに 10～15 分の休憩を取り、目や手を休めてください。

リチウムイオンバッテリーパックについて

警告

- バッテリーパックに水をかけないでください。
- バッテリーパックの電気接点（金属端子）を金属などでショート（短絡）させないでください。
- 指定のバッテリーパック以外は、HT やクレードルに取り付けたり使用したりしないでください。
- バッテリーパックを HT 以外に使用しないでください。
- バッテリーパックをクレードル以外で充電しないでください。
- バッテリーパックを HT やクレードルに取り付けるときは、⊕と⊖の向きに注意して取り付けてください。

バッテリーパックの破裂や液漏れにより、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。

万一、バッテリーパックから漏れた液（電解液）が目や口に入った場合は、すぐにきれいな水でよく洗った後、ただちに医師の治療を受けてください。また、電解液が手や衣服などについてしまった場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

- バッテリーパックを火の中に投げ入れないでください。
爆発して、火災ややけどの原因になります。
- 充電・使用しているバッテリーパックから異臭・変色、大きく変形するなど異常が発生した場合は、すぐに充電および使用を中止してください。
- 保管しているバッテリーパックから異臭・変色、大きく変形するなど異常が発生した場合は、そのバッテリーパックを使用しないでください。

注意

- バッテリーパックを HT やクレードルから取り外す際には、指や爪など怪我しないようご注意ください。
バッテリーパックがしっかりと固定されるように設計されているため、取り外しの際にやや固く感じられる可能性があります。
- 長い期間、HT を使用しない場合でも、適時充電されたバッテリーパックを HT に取り付けておいてください。
HT にバッテリーパックを取り付けないまま長い期間保管してしまった場合、バッテリーパックからバックアップバッテリーへの充電ができなくなり、バックアップバッテリーが過放電状態になってしまいます。過放電になったバックアップバッテリーは液漏れが発生し、HT の故障や破損の原因になることがあります。

注意

- HT の主電源であるバッテリーパックは消耗品であり、使用するにつれてフル充電の状態で使用できる時間が短くなります。この現象はバッテリーパックの特性によるもので、異常や故障ではありません。

警告

HTには無線通信機能を持ったモジュールが内蔵されています。この無線通信機能で使用する電波により医療機器や各機器に影響を及ぼし、重大な事故の原因となるおそれがあります。心臓ペースメーカーをお使いの方や以下の場所では、この無線通信機能を使用しないでください。

- 心臓ペースメーカーをお使いの方は、無線通信機能を使用しないでください。
無線通信に使用する電波が心臓ペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- 心臓ペースメーカー等の医療機器を使用されている人の近くでは、無線通信機能を使用しないでください。
- 病院などの医療機関内や医療用電気機器の近くでは、無線通信機能を使用しないでください。
無線通信に使用する電波が、心臓ペースメーカーなどの動作に影響を与えるおそれがあります。ご利用に関しては各医療機関へお問い合わせください。
- 航空機内で無線通信機能を使用しないでください。
無線通信に使用する電波が航空機内の精密機器へ影響を及ぼし、誤動作による重大事故の原因になるおそれがあります。
- 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くでは無線通信機能を使用しないでください。
無線通信に使用する電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になるおそれがあります。

注意

■ 電波に関するご注意

HTで使用する周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器や、ほかの同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下、「ほかの無線局」）が運用されています。

下記の点に注意してご使用ください。

1. HTを使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、HTと「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにHTの使用場所を変えるか、またはHTの運用を停止（電波の発射を停止）してください。停止後、販売店または担当営業までご連絡をいただき、混信回避のための処置等（例：パーティションの設置等）についてご相談ください。
3. その他、HTから「ほかの無線局」に対して電波干渉の事例が発生した場合など、お困りの事態が発生したときには、お買い上げの販売店または担当営業までご確認ください。

USB 通信クレードルおよび 4 連充電クレードルについて

警告

- クレードルを AC100V 以外の電源電圧で使用しないでください。
 - 電源コードを束ねたり、結んだ状態で使用したりしないでください。
 - 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。
 - 電源コードに重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。
 - クレードルに付属している電源コードや AC アダプター以外は使用しないでください。
 - クレードルに付属している電源コードや AC アダプターは他の製品に使用しないでください。
 - タコ足配線をしないでください。
火災や感電の原因になります。
-
- 電源コードのプラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
電源コードのプラグの刃に金属などの異物が触れると、火災や感電の原因になります。
-
- 電源コードのプラグは定期的に点検を行ない、乾いた布等でほこりを取り除いてください。
電源コードのプラグ部分にほこりがたまり、さらに湿気が加わると、火災の原因になります。
-
- 電源コードのプラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
電源コード部分を持って引っ張ると、芯線の露出や断線など電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
-
- 製品を分解したり改造したりしないでください。
内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因になります。
-
- 製品を屋外で使用しないでください。
漏電や感電の原因になることがあります。
-
- 濡れた手で電源コードのプラグを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。
-

注意

- いつでも電気コードのプラグを抜くことができるように、コンセントのまわりには物を置かないでください。
非常時に電源コードのプラグを抜くことができなくなります。
 - 製品を使用しないときは、安全のために電源コードを製品とコンセントから抜いておいてください。
 - 延長電源コードを使用する場合は、延長電源コードのアンペア数値に注意してください。
 - バッテリーパックは、0℃～40℃の温度範囲内で充電することができます。バッテリーパックの性能を最大限に発揮させるために、10℃～30℃の温度範囲内で充電する事をおすすめします。
-

良い状態で長い期間ご使用いただくために

製品は精密な電子部品で構成されています。より良い状態で長い期間ご使用いただくため、次の事項をお守りください。

- 直射日光が当たる場所で長時間使用しないでください。
また、直射日光が当たる車内など、高温になる場所で使用したり保管したりしないでください。
- 急激な温度変化がある場所で使用しないでください。
特に寒冷地など、室温と外気の温度差が大きい場所を移動したり、冷え切った部屋を急激に暖めたりした場合などは、製品内部に結露（水滴）が生じることがあります。このようなときは、水滴が自然に蒸発するまで、製品の使用を控えてください。
- 使用時の温度範囲は -10°C ~ 50°C を、湿度範囲は5%RH~90%RHを目安にしてください。
ただし、結露している場合は、水滴が自然に蒸発するまで、製品の使用を控えてください。
- 保管時の温度範囲は -20°C ~ 60°C を、湿度範囲は5%RH~95%RHを目安にしてください。
ただし、結露している場合を除きます。また、長い期間にわたって保管する場合は、 -20°C ~ 35°C の温度範囲内で保管してください。
- 製品を水に濡れたまま放置しないでください。
製品が水に濡れた場合は、乾燥したやわらかい布で水分を拭き取ってください。製品を濡れたまま放置すると誤動作や故障の原因となることがあります。
- 製品に磁石を近づけたり、テレビやラジオなど強い磁界を発生するものの近くで使用したりしないでください。製品の動作に悪影響を与えることがあります。
- 製品の上に物を載せないでください。
また、タッチパネルに肘をついたり、固いものでたたいたりなど、無理な圧力を加えないでください。
- 製品を落としたり、硬いものにぶついたりといった強い衝撃を与えないでください。
また、鞆などに入れて持ち運ぶときは、硬いものと一緒に入れないでください。タッチパネルの故障の原因となります。
- 長い期間使用しないときは、HTの電源をシャットダウンしてください。また、メモリーの情報を保持するため、充電されたバッテリーパックをHTに取り付けた状態で保管してください。
ただし、バッテリーパックを充電せずに長い期間取り付けたままにしておくとは過放電状態となり、バッテリーパックの寿命短縮の原因となります。定期的にバッテリーパックの残容量を確認し（P.21）、少なくなっている場合は充電されたバッテリーパックと交換してください。

保守および点検について

- HTを清掃するときは、HTの電源をシャットダウンしてください。火災や感電の原因となります。
- タッチパネルを清掃するときは、レンズクリーナー等のやわらかい布でパネル表面に圧力を加えないように軽く拭いてください。なお、シンナーやアルコールなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。タッチパネルが変形、変色、溶解するおそれがあり、故障の原因となります。

耐環境性能について

製品の耐環境性能はお客様への販売時点におけるものであり、製品の使用・保管の環境や本機への衝撃・摩擦・経年劣化などにより低下しますので、ご了承ください。また、製品の耐環境性能は当社試験方法による試験値であり、無破損・無故障を保証するものではありません。製品の耐環境性能を保持するために、次の注意事項をお守りください。

- HT を使用する前に、バッテリーカバー（以下、カバー）が確実に閉まっていることを確認してください。カバーが確実に閉まっていないと製品内部に水が入り故障する原因となります。
- カバー裏側のパッキンやその接触面に傷をつけたり、髪の毛や砂などの異物を付着させたりしないでください。パッキンが傷ついたり異物が付いたりしていると防水性能を保持できなくなります。また、パッキンをご使用につれて経年劣化しますので、定期的な交換をおすすめします。パッキンの交換はお買い上げの販売店または担当営業にお問い合わせください。
- 製品が濡れているときや水辺など水が飛びやすい場所では、カバーを開け閉めしないでください。また、濡れた手でバッテリーパックやメモリーカードの交換を行わないでください。
- 製品を水に濡れたまま放置しないでください。製品が水に濡れた場合は、乾燥したやわらかい布で水分を拭き取ってください。製品を濡れたまま放置すると誤動作や故障の原因となることがあります。
- 製品を落としたり、硬いものにぶつけたりといった強い衝撃を与えないでください。防水性能を保持できなくなります。
- 使用上の不注意により製品内部に水が浸入した場合、保証の対象となりませんのでご注意ください。

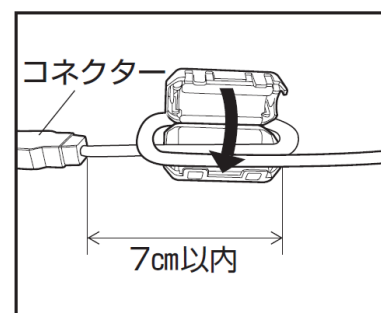
電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の定めるクラスB情報処理装置の基準を満たすため、下記の場合には、手順に従って必ずオプションのフェライトコアを取り付けてください。

- USB ケーブルを使って USB 通信クレードルとお使いのパソコン（以下、PC）を接続する際は、右図のように、オプションのフェライトコア FC-15 を、お使いの USB ケーブルの両端に取り付けます。
フェライトコアは、両端ともコネクターから 7cm 以内の場所に USB ケーブルを 1 回巻きつけて取り付けます。



液晶パネルについて

HTの液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。また、表示条件や見る角度によって明るさのむらが見えたり、液晶パネルの消灯時に黒いすじ状の残像が出たりすることがありますが、いずれも液晶の構造によるもので故障ではありません。あらかじめご了承ください。

バッテリーパックはキヤノン純正品をおすすめします

HTは、キヤノン純正の専用バッテリーパックと組み合わせてお使いになった場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正バッテリーパックのご使用をおすすめします。なお、純正品以外のバッテリーパック（リフレッシュバッテリーや純正品のセルを交換したバッテリーパックを含みます）の不具合（たとえばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

廃棄について

- 製品を廃棄する場合は、お買い上げの販売店または担当営業にお問い合わせの上、必ず製品内のデータおよびアプリケーションを消去してください。データおよびアプリケーションが消去されず残っていた場合に生じ得る罰則を含む一切の損害につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 製品を廃棄する場合は、必ず法律や地域の条例に従って廃棄してください。ご不明な点はお買い上げの販売店または担当営業へお問い合わせください。
- HTで使用しているバッテリーパックは、貴重な資源を使用しており、この貴重な資源はリサイクルしたり再利用したりすることができます。不要となったバッテリーパックのリサイクルについては、「**■リチウムイオンバッテリーパックのリサイクルについて**」(P.24)をご確認ください。

ご不明な点や修理に関するご相談

- 製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）および消耗品の最低保有期間は下記の通りです。

レーザーキャナーモデル ST-300L リチウムイオンバッテリーパック BA-20 USB 通信クレードル CR-15U 4 連充電クレードル MC-15	製造終了後 7 年
2次元コードスキャナーモデル ST-300S	製造終了後 5 年

- ご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または担当営業にお問い合わせください。なお、製品の修理を依頼される場合は、必ず製品内のデータおよびアプリケーションを消去してください。データおよびアプリケーションが消去されずに残っていた場合に生じ得る罰則を含む一切の損害につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

2. HT の各部の名称と機能

HTをご使用の前に、構成品と各部の名称と機能を確認してください。

HT の構成品について

HTをご使用になる前に、次の機器・付属品が入っていることを確認してください。

- | | | |
|---------------------|----|----|
| ①. ハンディターミナル ST-300 | 1台 | ※1 |
| ②. ユーザーズガイド | 1枚 | |
| ③. 無線機器に関する注意ラベル | 1枚 | |

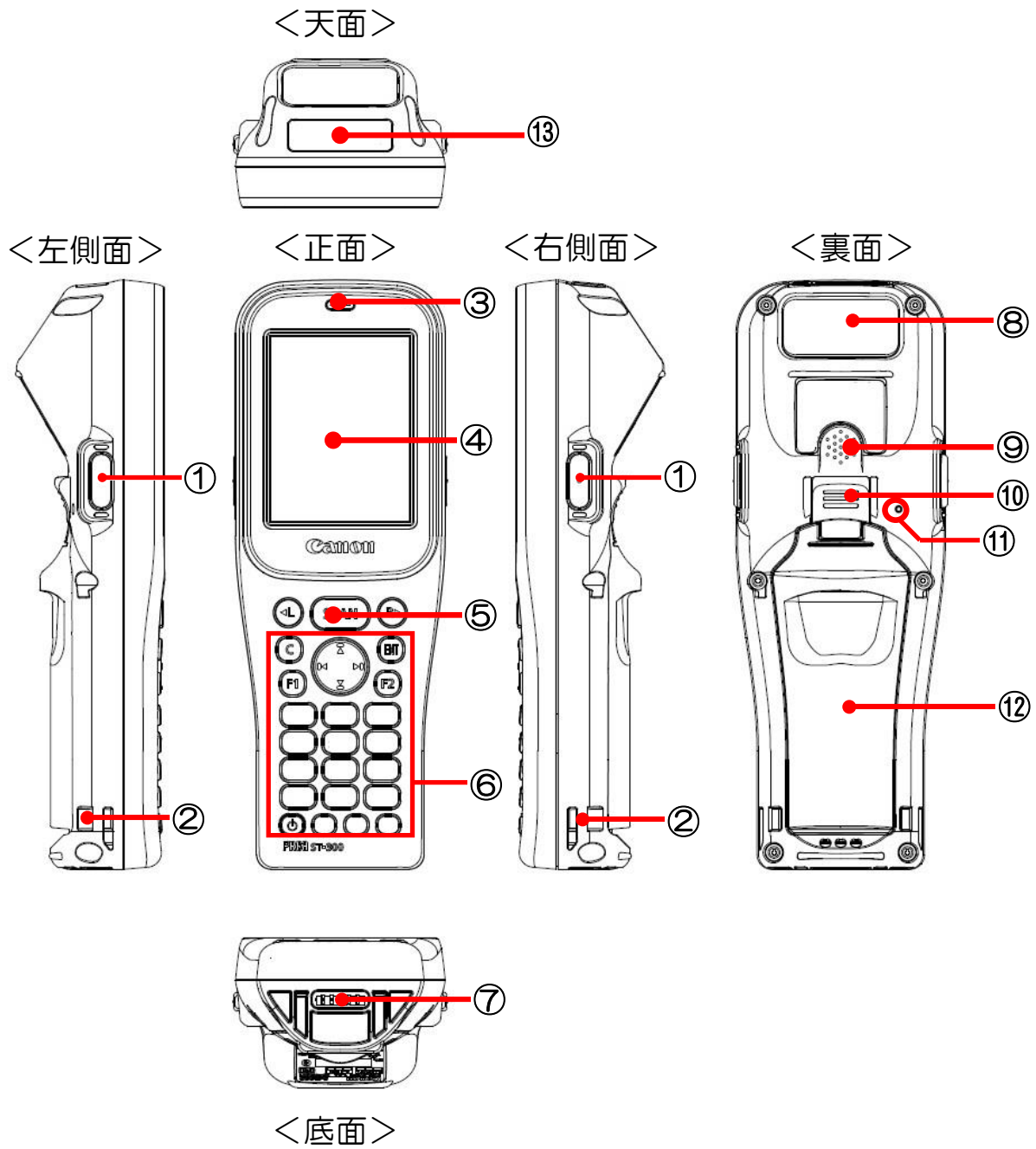
※1:バッテリーパックBA-20は、あらかじめHTに取り付けられた状態で販売されています。



メモ

- バッテリーパックのお買い求めの際は、必ず同じ品番のバッテリーパック（BA-20）を指定してください。
- バッテリーパックの充電には、別売りのクレードル（USB 通信クレードル CR-15U または、4 連充電クレードル MC-15）をお買い求めください。

各部の名称と機能

HT の各部の名称と機能は、次の通りです。



①	サイドトリガーキー	左右両サイドにあり、コードを読み取るときに使用できます。	
②	ストラップホール	ストラップを取り付けます。	
③	LEDインジケーター	クレードルで充電する時にLEDが点灯します。 赤色点灯：充電中 緑色点灯：充電完了	
④	タッチパネル付液晶画面	入力した文字／数値などが表示されます。また、タッチパネルとして情報の入力が行なえます。	
⑤	スキャンキー	画面下中央にあり、コードを読み取るときに使用できます。	
⑥	テンキー	数値の入力やファンクションの使用、プログラムの実行に使用します。 テンキー：英数字・文字・記号の入力に使用します。 中央キー：カーソルを上下左右に移動させるときに使用します。 【C】：入力した情報を消すときに使用します。 【ENT】：入力した情報の決定や改行をするときに使用します。 電源キー：電源のオン/オフを切り換えるときに使用します。 【L】【R】【F1】【F2】【F3】【F4】【F5】 ：ファンクションキーとして使用します。 ※ 各ファンクションキーの機能は、使用するアプリケーションにより割り当てられます。	
⑦	電気接点（充電・通信端子）	クレードルに設置したときに、バッテリーパックの充電やデータの通信に使用します。	
⑧	コード読取部	対応のコードを読み取ります。 照射されるレーザー光やマーカをのぞき込まないでください。	
⑨	スピーカー	操作時などに音声を出すことができます。	
⑩	バッテリーカバーロック	バッテリーカバーをロックします。	
⑪	ソフトリセットスイッチ	HTに異常な状態が発生したときに、システムを再起動させるために使用します。	
⑫	バッテリーカバー	バッテリーパックを内部に収納するスペースをカバーします。	
⑬	レーザー注意ラベル	ST-300L	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">レーザー放射</p> <p style="text-align: center;">ビームをのぞき込まないこと</p> <p style="text-align: center;">クラス2レーザー製品</p> <p style="text-align: center;">最大出力1mW 波長650nm</p> </div>
		ST-300S	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">レーザー放射</p> <p style="text-align: center;">ビームをのぞき込まないこと</p> <p style="text-align: center;">クラス2レーザー製品</p> <p style="text-align: center;">最大出力1mW 波長657nm</p> </div>

3. ご使用の前に

この章では、HTをはじめてお使いになるための一連の操作について説明します。

バッテリーパックの充電

ハンディターミナル プレア ST-300（以下、HT）は、バッテリーパックBA-20（以下、バッテリーパック）を主電源として使用します。はじめてお使いになるときは、バッテリーパックはフル充電されていませんので、以下の充電方法でバッテリーパックを充電してください。

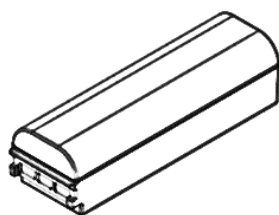
■ USB 通信クレードル CR-15U で充電する

- HTに取り付けられたバッテリーパック充電する（P.30）
- バッテリースロットでバッテリーパックを充電する（P.32）

■ 4 連充電クレードル MC-15 で充電する

- HTに取り付けられたバッテリーパック充電する（P.38）
- バッテリースロットでバッテリーパックを充電する（P.40）

バッテリーパックには、警告内容が刻印されています。バッテリーパックの使用を誤ると発煙・発火・破裂のおそれがあります。以下の事項を必ずお守りください。



⚠ 警告

- 火の中に投入しないでください。
- 高温（60℃以上）の場所に放置しないでください。
- 分解をしないでください。
- 十と一の端子をショート（短絡）させないでください。
- 充電には専用の充電機器を使用してください。

⚡ 重要

- 充電は不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いたところなど）や、振動の多い場所では行なわないでください。
- バッテリーパックの性能を最大限に発揮させるためには、10℃～30℃の温度範囲内で充電する事をおすすめします。本書に記載の充電時間は目安であり、充電時間は周囲の温度やバッテリーパックの状態により多少変動します。
- バッテリーパックをはじめてお使いになるときは、十分に充電しても使用できる時間が短くなってしまうことがあります。これは、バッテリーパックの特性のためで、異常や故障ではありません。数回充電を繰り返しているうちに、所定の時間使用できるようになります。
- バッテリーパックを落としたり、硬いものにぶついたりといった強い衝撃を与えないでください。
- バッテリーパックの電池電圧がある一定の値以下に下がると、電源が自動的にシャットダウンの状態に切り換わる場合があります。この場合、充電してもすぐにはHTの電源がオンにならないことがあります。
- バッテリーパックが充電中に多少熱をおびたり、若干ふくらんだりする場合がありますが、これはバッテリーパックの特性によるもので、異常や故障ではありません。

メモ

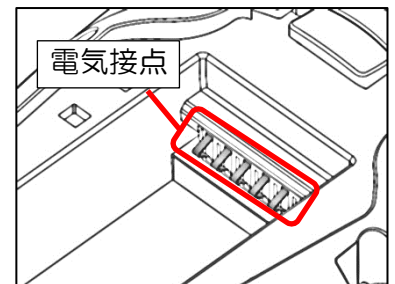
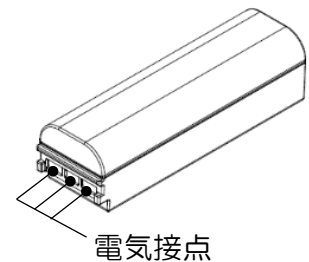
- フル充電になる前のバッテリーパックであっても、必要なときに使用することができます。
- バッテリーパックをHTに取り付けてクレードルで充電しても、充電が始まらない場合は、HTからバッテリーパックを取り外し、クレードルの裏面にあるバッテリースロットにバッテリーパックを取り付けて充電してください。長い期間HTに取り付けられたまま使用されない状態が続いたバッテリーパックは、すぐには充電が始まらない場合があります。
- バッテリーパックの電池残容量は「残り容量の確認方法」(P.21)を参照してください。
- バッテリーパックの取り扱いについては「バッテリーパックとバックアップバッテリーについて」(P.21)を参照してください。
- バッテリーパックの交換時期については「バッテリーパックの交換時期について」(P.23)を参照してください。
- バッテリーパックをHTやクレードルから取り外す際には、指や爪など怪我しないようご注意ください。バッテリーパックがしっかりと固定されるように設計されているため、取り外しの際にやや固く感じられる可能性があります。

バッテリーパックの取り付け

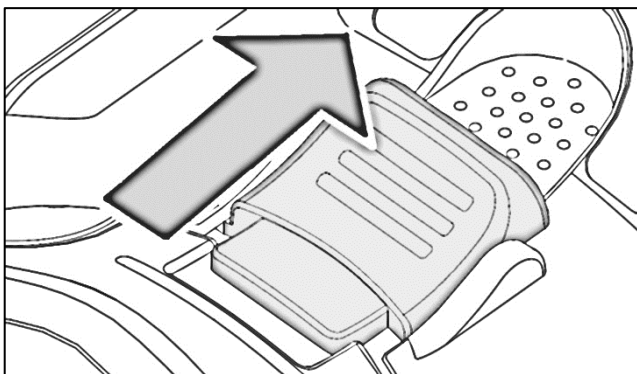
バッテリーパックをHTに取り付けます。

重要

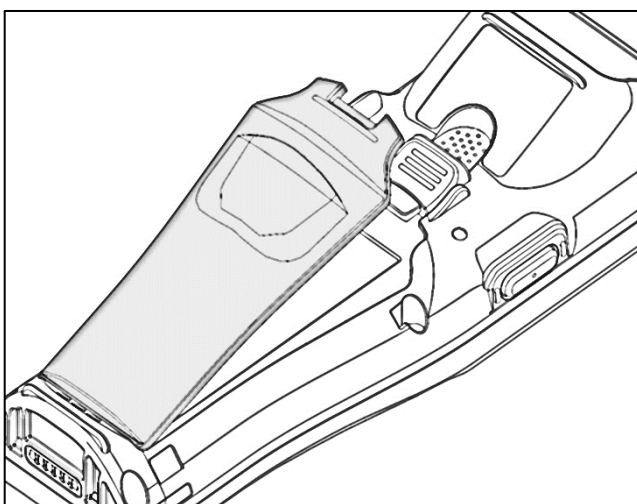
- HTを長い期間使用しないときでも、充電されたバッテリーパックをHTに取り付けておいてください。これによりバックアップバッテリーが、自動的に充電されます。
- バッテリーパックの取り付けや取り外しのときに、バッテリーパックやHTやクレードルの電気接点(充電・通信端子)に触れないでください。指紋などが付着すると、接触不良の原因になることがあります。
- HTには指定のバッテリーパック(BA-20)以外のバッテリーパックを取り付けしないでください。
- バッテリーカバーの内側周辺には、防水性能を保持するために赤色のゴム製パッキンが取り付けられています。バッテリーカバーをHTから取り外したり取り付けたりする際には、パッキンがこすれたり傷ついたりしないようにしてください。また、パッキンに砂や異物が付いたまま使用すると、防水性能を損なうことがありますのでご注意ください。砂や異物等は、市販のエチルアルコールで湿らせた綿棒などで取り除いてください。パッキンが切れたり傷ついたり変形した場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- バッテリーカバーが取り付けられていない状態では、バッテリーパックをHTに取り付けてもHTの電源はオンになりません。必ずバッテリーカバーを取り付けてから電源キーを押してください。



1. バッテリーカバーを開く

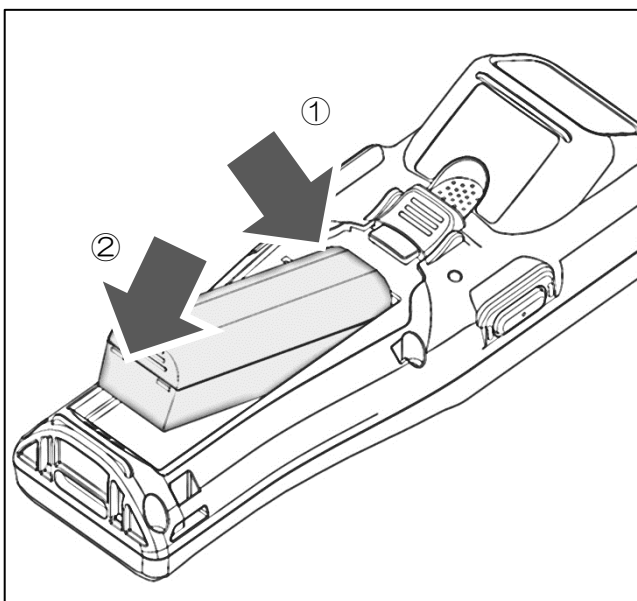


- バッテリーカバーロックを、「カチッ」と音がするまで矢印の方向にスライドしてください。



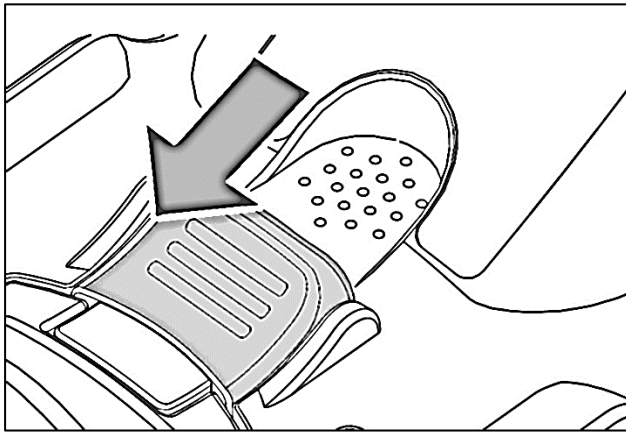
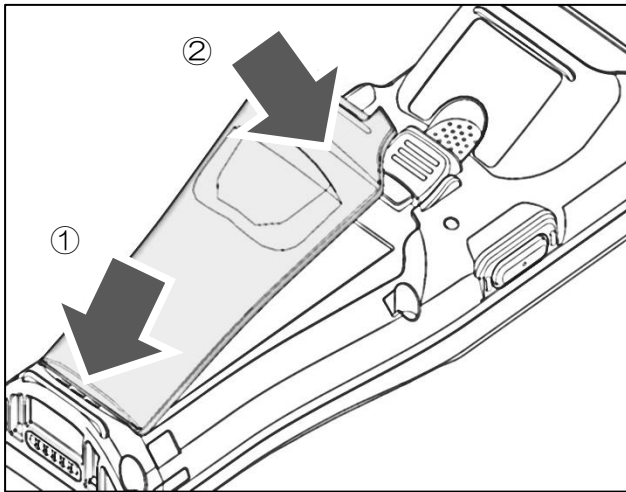
- バッテリーカバーを開くことができます。

2. バッテリーパックを取り付ける



- 左図のようにバッテリーパックをHTに取り付けてください。
- ① バッテリーパックの電気接点とHTの電気接点が接するように、バッテリーパックを差し込んでください。
- ② 「△」マークのある方を「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

3. バッテリーカバーを取り付ける



- 左図のようにバッテリーカバーをHTに取り付けてください。
 - ① バッテリーカバーの突起部をHTのくぼみに差し込むように取り付けてください。
 - ② バッテリーカバーの反対側をバッテリーカバーロックの方に倒してください。
-
- バッテリーカバーロックを、「カチッ」と音がするまで矢印の方向にスライドしてください。

電源のオン/オフ（サスペンド）について

重要

- HT の電源のオン/オフ（サスペンド）の切り替えを短い時間で頻繁に行なわないでください。誤動作や故障の原因になることがあります。
- HT の電源キーを押してからシステムが安定するまでの約 3 秒間は、電源キーの操作は無効になります。

電源オン

電源キーを押します。



電源キー

HT の状態	電源キーを押した後の状態
はじめてHT をお使いになる場合	HT の電源がオンになります。操作可能な状態になるまでに約 30 秒かかります。
シャットダウン状態	
サスペンド状態	サスペンド前の元の表示状態に復帰（レジューム）します。

- はじめてお使いになるときは、電源がオンになった後、「HT の初期設定」（P.19）の手順に従ってタッチパネルの調整と日付/時刻の設定を行なってください。
- 初期状態では、電源をオンにしてタッチパネルやキー操作をしない状態で約 3 分間経過すると、画面上の表示が消えて、サスペンド状態（CPU を停止した状態）に切り替わります。

電源オフ（サスペンド）

HT が電源オン状態であるときに電源キーを押します。



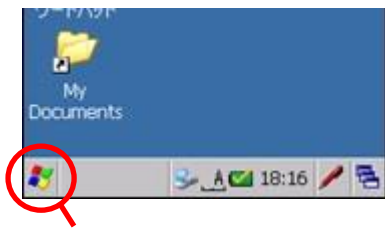
電源キー

HT の状態	電源キーを押した後の状態
電源オン状態	画面上の表示が消えて、サスペンド状態に切り替わります。

サスペンド状態に切り替えておくことで、通常使用時よりも消費電力を低減することができます。なお、サスペンド中はメモリー保持などのために必要最小限度の電力は消費されます。サスペンド状態を長時間続けるためには、必ずフル充電されたバッテリーパックをHTに取り付けるか、バッテリーパックを取り付けたHTをクレードルにセットして充電してください。

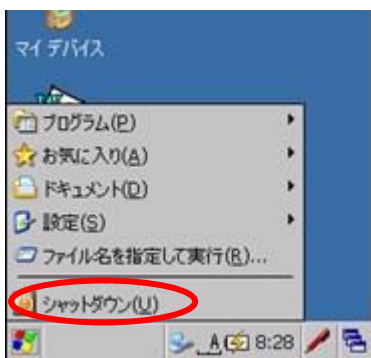
■ シャットダウン

電源のシャットダウンは、タッチパネル画面で操作します。

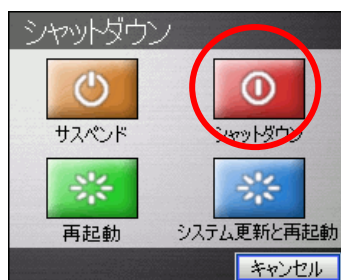


Windows のスタートメニュー

1. 画面左下の「スタートメニュー」をタップしてください。
【スタートメニュー】が表示されます。



2. 「シャットダウン (U) 」をタップしてください。
【シャットダウン画面】が表示されます。



3. 【シャットダウン画面】の右上の「シャットダウン」アイコンをタップしてください。
HT が起動前の状態に戻ります。

バッテリーパックおよびバックアップバッテリーの電池残量が充分にあれば、シャットダウンに切り替えても時計およびカレンダーの内容は保持されます。

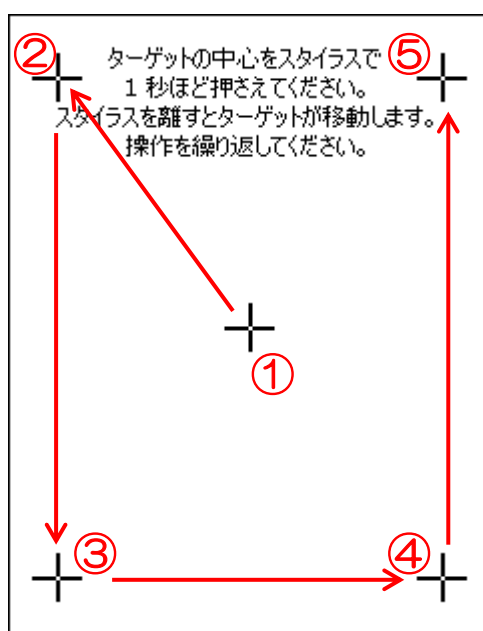
HT の初期設定

はじめてお使いになるときは、タッチパネルの調整と日付／時刻の設定が必要です。以下の手順に従って、タッチパネルの調整と日付／時刻の設定を行なってください。

重要

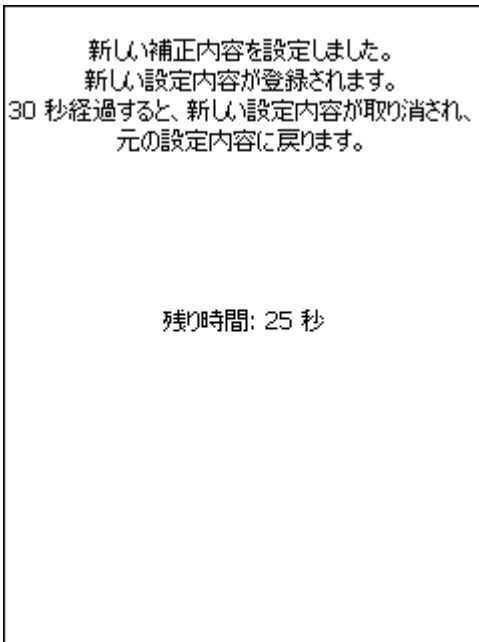
- タッチパネルの調整にはタッチパネル用のスタイラスペンが必要です。タッチパネルの調整を行なう前に、タッチパネル用スタイラスペンを用意してください。
- タッチパネルの調整は5個所のタップを1サイクルとして行ない、タッチした位置がずれている場合には1サイクルが終了しないことがあります。

1. タッチパネルを調整する



液晶画面上に、左のタッチパネル調整画面が表示されます。

1. はじめに画面中央のターゲット (①) を1秒ほどスタイラスペンで押さえてください。
2. ターゲットが②・③・④・⑤の順番で移動しますので、順番にそれぞれ1秒ほどスタイラスペンで押さえてください。



3. 正しくタッチパネルが設定されると、液晶画面上に左の画面が表示されます。
つづいて、【ENT】キーを押すか、またはタッチパネル画面をタップしてください。

2. 日付／時刻を設定する



適用ボタン

1. 液晶画面上に左の「日付/時刻のプロパティ」画面が表示されたら、月・日・時間・分・秒の順に設定を行なってください。
2. 日付と時刻が合っていることを確認し、右下の「適用(A)」ボタンをタップしてください。

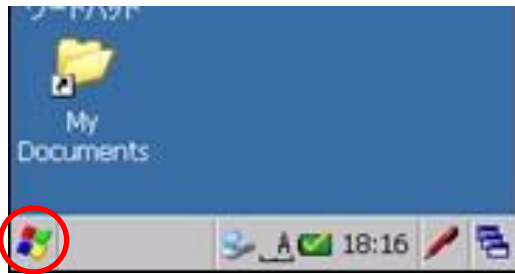
バッテリーパックとバックアップバッテリーについて

HTの主電源となるバッテリーパックと、HTに内蔵されているメモリーバックアップ用のバックアップバッテリーについて説明します。

なお、液晶画面上では、バッテリーパックは「メイン バッテリ」と表示され、バックアップバッテリーは「バックアップ バッテリ」と表示されます。

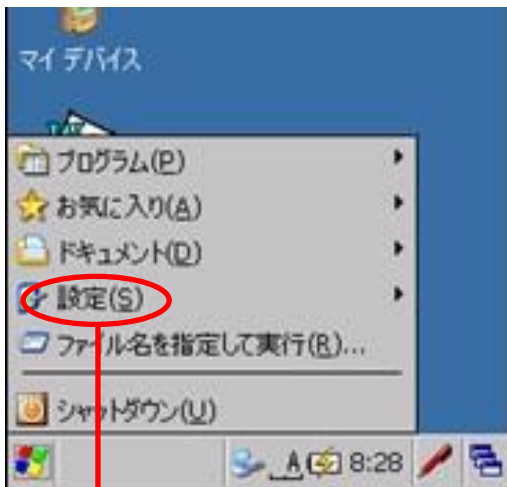
■ 残り容量の確認方法

バッテリーパックとバックアップバッテリーの残り容量は、以下の方法で確認することができます。



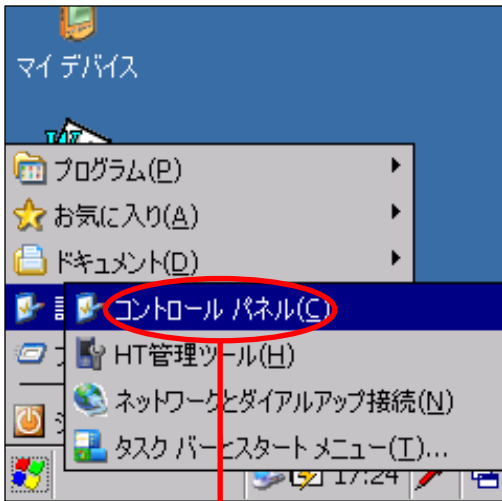
Windows のスタートメニュー

1. 液晶画面の左下の「スタートメニュー」をタップしてください。



「設定 (S)」

2. 「設定 (S)」をタップしてください。



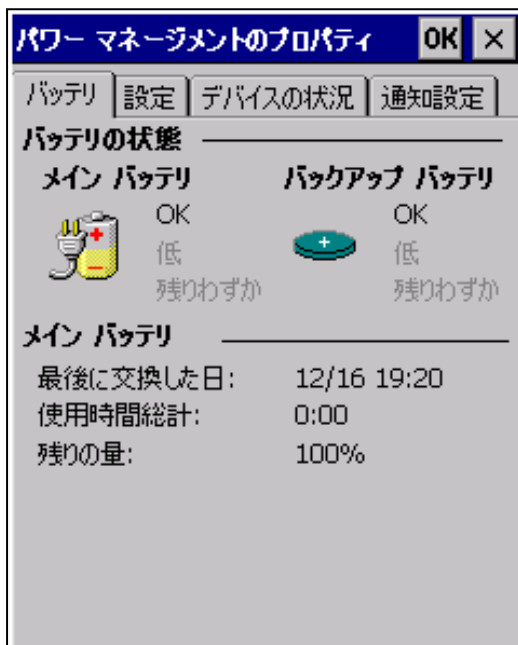
3. 「コントロール パネル (C)」をタップしてください。

コントロール パネル(C)



4. 「パワー マネジメント」をタップしてください。

パワー マネジメント



5. 【パワー マネジメントのプロパティ】でバッテリーパックとバックアップバッテリーの残りの容量を確認することができます。

- * 「バックアップバッテリー」の残量が「残りわずか」と表示されたら、十分に充電されたバッテリーパックをHTに取り付けてください。これでバックアップバッテリーは自動的に充電されます。

■ バッテリーパックの交換時期について

- バッテリーパックには寿命がありますので、予備用のバッテリーパックをお買い求めいただき、定期的に新しいバッテリーパックを交換・お買い求めいただくことをお勧めします。
- バッテリーパックの寿命は使用環境により変わりますが、目安は使用開始から約1年から1年半、または充電・放電の繰り返し約300回を過ぎた時点です。ただし、実際の使用環境や使用状況によってバッテリーパックの寿命は変わります。
- 交換時期は、バッテリーパックをフル充電しても、新しいバッテリーパックの容量の60%にしかならなくなったときが目安です。
- バッテリーパックをお買い求めの際は、同じ品番のバッテリーパック (BA-20) を指定してください。

■ バックアップバッテリーの交換時期について

- バックアップバッテリーも寿命がありますので、定期的にバッテリーパックを交換することをお勧めします。
- バックアップバッテリーの寿命は使用状況により異なりますが、目安は使用開始から約3年を過ぎた時点です。
- 十分に充電されたバッテリーパックをHTに取り付けても、【パワー マネジメントのプロパティ】画面 (P.23) で「バックアップバッテリー」の残量が「残りわずか」と表示されたまま変化しない場合は、バックアップバッテリーの交換時期が近づいています。バックアップバッテリーの交換の際は、必ずお買い上げの販売店または担当営業までお問い合わせください。

■ バッテリーパックの特性について

- 冬の屋外などの低温環境では、バッテリーパックの容量が低下するため、運用時間が短くなります。
- バッテリーパックは未使用のものでも時間の経過によって劣化します。1年以上経過したバッテリーパックは容量低下が確認されます。
- バッテリーパックの充電の際には、十分に換気に配慮してください。保管庫やキャビネットなど熱のこもりやすい環境で充電する場合、バッテリーパックの充電容量の低下が早まり、電池寿命が短くなります。換気を行ない熱がこもらないようにしてください。

■ バックアップバッテリーの特性について

- HT をサスペンド状態にした後に、バッテリーパックを取り外した場合には、バックアップバッテリーからの電気によってデータや時計やカレンダーなどの情報を保持します。ただし、このような状態で放電し続けると、バックアップバッテリーがフル充電されていても、最大で約 30 分間までしか情報の保持はできません。
- 長い期間 HT を使用しないときには、スタートメニューから「シャットダウン」を選択し、電源をシャットダウンし、充電済みのバッテリーパックを取り付けてください。
- バックアップバッテリーは、充電済みのバッテリーパックによって自動的に充電されます。特別な充電作業は必要ありません。なお、残量の少ないバックアップバッテリーをフル充電するには約 14 時間かかります。
- バックアップバッテリーがフル充電されていても、サスペンド状態で予備のバッテリーパックを HT に取り付けていない場合は、RAM の情報の保持時間は最大で約 30 分間となります。また、バックアップバッテリーがフル充電されていても、シャットダウン状態で予備のバッテリーパックを HT に取り付けていない場合は、カレンダーと時計の情報の保持時間は最大で約 24 時間となります。
RAM やカレンダーや時計の情報を維持するためには、バッテリーパックを取り外している間は、充電済みの予備のバッテリーパックを取り付けて、バックアップバッテリーへの自動充電が行なえる状態にしてください。完全放電を繰り返すと寿命は短くなります。なお、HT を使用しない場合でも、充電したバッテリーパックを装着し、バックアップバッテリーへの自動充電を行なえる状態にしてください。

■ リチウムイオンバッテリーパックのリサイクルについて



この製品には、リチウムイオンバッテリーパックを使用しています。リチウムイオンバッテリーパックはリサイクル可能な貴重な資源です。交換後不要になった電池、及び使用済み製品から取り外した電池のリサイクルに関しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れて下さい。

リチウムイオンバッテリーパックの回収についてのお問い合わせは、以下へお願いします。

◆ 製品、リチウムイオンバッテリーパックをご購入いただいた販売店

◆ 一般財団法人 JBRC

<http://www.jbrc.com/>

※ 使用済みバッテリーパックは、以下の点に注意してください。

- バッテリーパックの外装カバー（被覆・チューブなど）を剥がさないで下さい。
- バッテリーパックを分解しないで下さい。

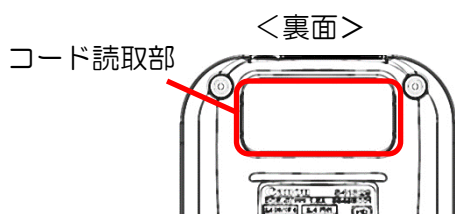
4. スキャナーを使用する

スキャナーを使用してコードを読み取る（スキャンする）際は、以下の操作方法にしたがってください。操作方はレーザースキャナーモデルST-300Lでも2次元コードスキャナーモデルST-300Sでも同じです。なお、スキャナーを使用する場合は、アプリケーションが必要です。詳しくはシステム管理者にお問い合わせください。

警告

- スキャナーから照射されるレーザー光やマーカを人体や目に向けて照射しないでください。レーザー光やマーカは人体や目に有害となる恐れがあります。

注意



- コード読取部に磁石を近づけないでください。機器に異常が発生する原因となります。
- コード読取部が汚れていたり、埃がついていたりする場合は、やわらかい布で軽く汚れをふき取ってください。それでも汚れが落ちない場合は、やわらかい布に市販のエチルアルコールを含ませてふき取ってください。
- スキャンするコードの表面が汚れている場合は、汚れをきれいにふき取ってからスキャンしてください。

コードの読み取り（スキャン）操作

1. コード読取部を JAN 等の対応のコードに向けてください。
2. スキャンキーもしくはサイドトリガーキーを押してください。



■ レーザースキャナーモデル ST-300L のご使用上の注意

- スキャナーから照射されるレーザー光の両端にはスキャンできない領域があります。レーザー光が対象のバーコードのすべてのバーに当たるように照射し、対象のバーコードがレーザー光の横幅の90%以下になる距離まで離してスキャンしてください。
- コードの表面に光沢があったり、ビニールなどでコードが覆われたりして鏡面反射が起きやすくなっている場合はスキャンしにくいことがあります。スキャンの角度を斜めにしたり、少し距離を離してみたりしてください。
(鏡面反射とは、コード面から反射した光が部分的に極めて強くなることをいいます。)

■ 2次元コードスキャナーモデル ST-300S のご使用上の注意

- スキャナーから照射されるマーカーは、読み取り対象のコードを示すように照射してください。読み取る距離が離れていたり近すぎていたりする場合や、マーカーが対象のコードから大きく外れてしまっている場合には、正しく読み取ることが難しくなりますのでご注意ください。
- コードの表面に光沢があったり、ビニールなどでコードが覆われたりして鏡面反射が起きやすくなっている場合はスキャンしにくいことがあります。スキャンの角度を斜めにしたり、少し距離を離してみたりしてください。
(鏡面反射とは、コード面から反射した光が部分的に極めて強くなることをいいます。)

5. USB 通信クレードル CR-15U を使用する

HT とは別売の USB 通信クレードル CR-15U(以下、USB 通信クレードル)を使うことで、HT の充電や HT から取り外したバッテリーパックの充電、PC との USB 通信、USB メモリーを使用した USB 通信をすることができます。

USB 通信クレードルの構成品について

USB通信クレードルをご使用になる前に、次の機器と付属品が入っていることを確認してください。

①. USB 通信クレードル CR-15U	1 台
②. AC アダプター	1 本
③. 電源コード	1 本
④. 注意事項（紙）	1 枚

重要

- 実際に使用するときの充電量は、USB ケーブルおよび USB メモリーを接続しない状態で充電した場合に、3.5 時間でフル充電に対して約 85%を目安にしてください。なお、この充電方法でフル充電することはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 電気接点（充電・通信端子）は、HT やバッテリーパックの着脱によって劣化します。着脱回数が 45000 回を超えた場合は、新しい USB 通信クレードルのお買い求めをお勧めします。
- USB 通信クレードルは、バッテリーパックの充電・USB 通信以外の目的で使用しないでください。
- USB 通信クレードルのバッテリースロットの端子は、バッテリーパックの抜き差しによって劣化します。挿抜回数が 3000 回を超えた場合は、新しい USB 通信クレードルのお買い求めをお勧めします。
- バッテリーパックを HT から取り外して充電するときは、予備のバッテリーパックを HT にセットしておくか、スタートメニューから「シャットダウン」を選択し、電源をシャットダウンしてください（P.18）。バックアップバッテリーがフル充電されていても、サスペンド状態で予備のバッテリーパックを HT に取り付けていない場合は、RAM の情報の保持時間は最大で約 30 分間となります。

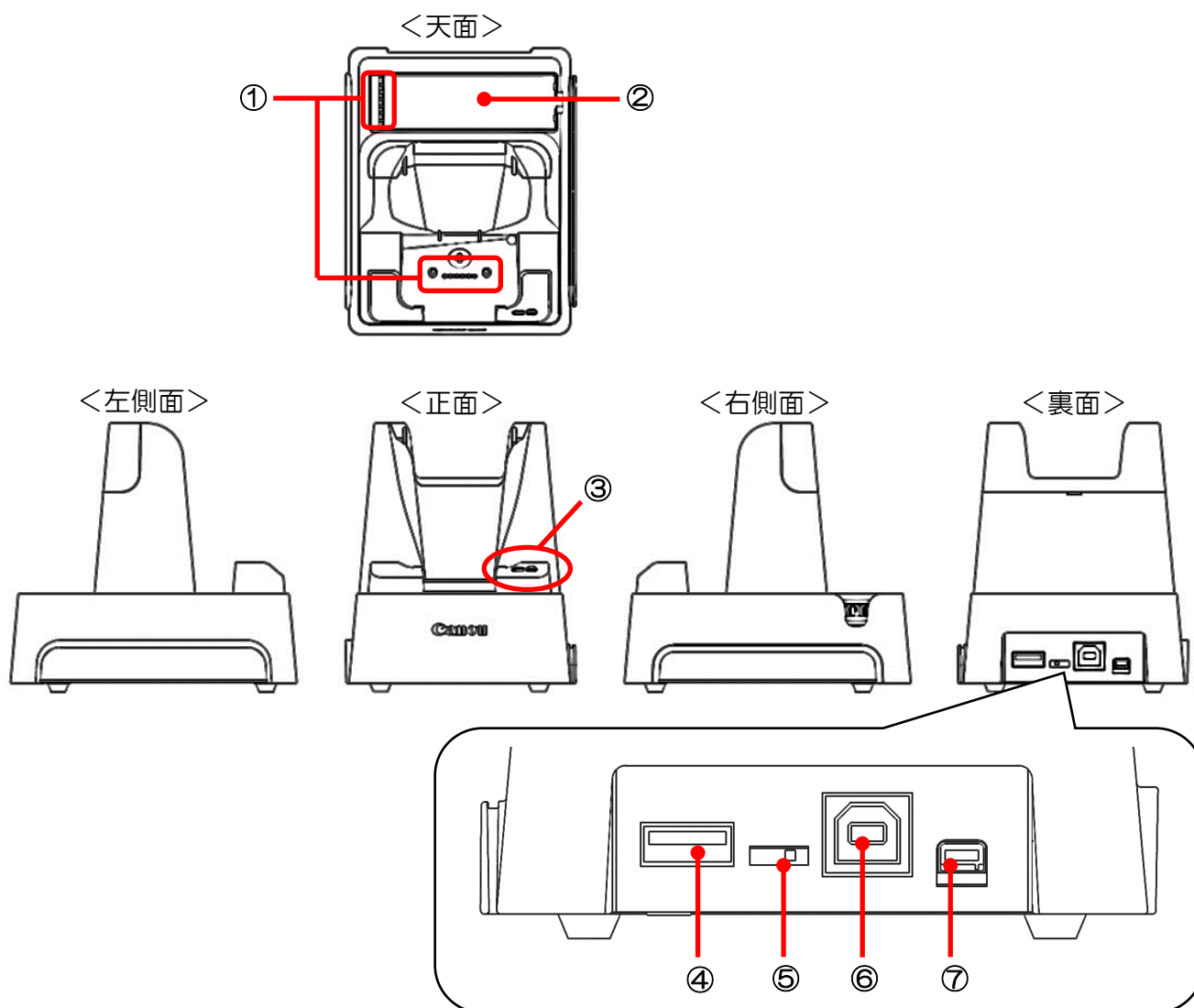
また、同じくバックアップバッテリーがフル充電されていても、シャットダウン状態で予備のバッテリーパックを HT に取り付けていない場合に、カレンダーと時計の情報の保持時間は最大で約 24 時間となります。

注意

- USB 通信クレードルから HT を取り外すときは、必ず手で USB 通信クレードルをしっかりと押さえながら、HT を取り外してください。USB 通信クレードルを押さえずに HT を取り外そうとした場合、HT が USB 通信クレードルから外れずに一緒に持ち上がったり、一緒に持ち上がった USB 通信クレードルが落下してしまったりする恐れがあります。
- USB 通信クレードルを移動させる際は、必ず USB 通信クレードルを持ち上げてから移動させてください。

USB 通信クレードルを持ち上げずに接地面に置いたまま水平方向に移動させてしまった場合、底面の固定用ゴム（ゴム足）がはがれてしまう可能性があります。

各部の名称と機能



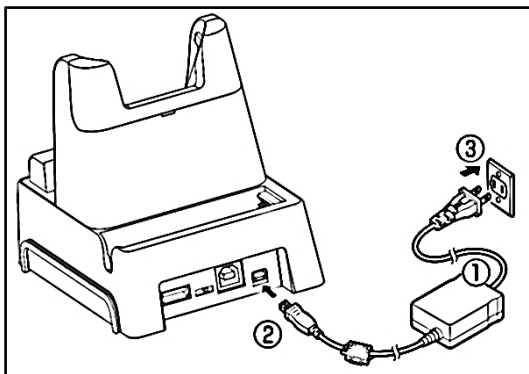
①	電気接点 (充電・通信端子)	バッテリーパックの充電やデータの通信を行なう時に使用します。
②	バッテリースロット	バッテリーパックを取り付けて充電します。
③	LED インジケーター	バッテリースロットでバッテリーパックを充電する時に LED が点灯します。 ● 赤色点灯：充電中 ● 緑色点灯：充電完了
④	USB TypeA コネクター	USB メモリーを接続することができます。
⑤	USB 切換えスイッチ	使用する USB コネクターを選択します。 ● スイッチが左側：④USB TypeA コネクターが使用可能 ● スイッチが右側：⑥USB TypeB コネクターが使用可能
⑥	USB TypeB コネクター	USB ケーブルを接続し PC と通信することができます。
⑦	電源コネクター	AC アダプターのプラグを接続します。

USB 通信クレードルの設置方法

重要

- USB 通信クレードルを使用する際は、必ず以下の設置方法で設置してから使用してください。なお、本章での使用説明は、すべて設置された状態を前提に記載しております。

■ USB 通信クレードルに AC アダプターを接続する

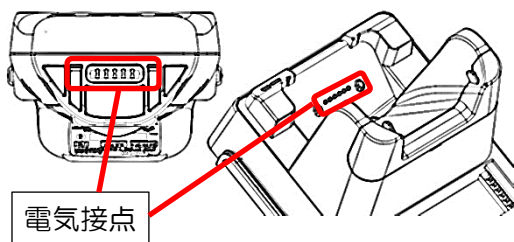


- ①. AC アダプターに電源コードを接続してください。
- ②. AC アダプターのプラグを USB 通信クレードルの電源コネクタに接続してください。
- ③. 電源コードをコンセントに接続してください。

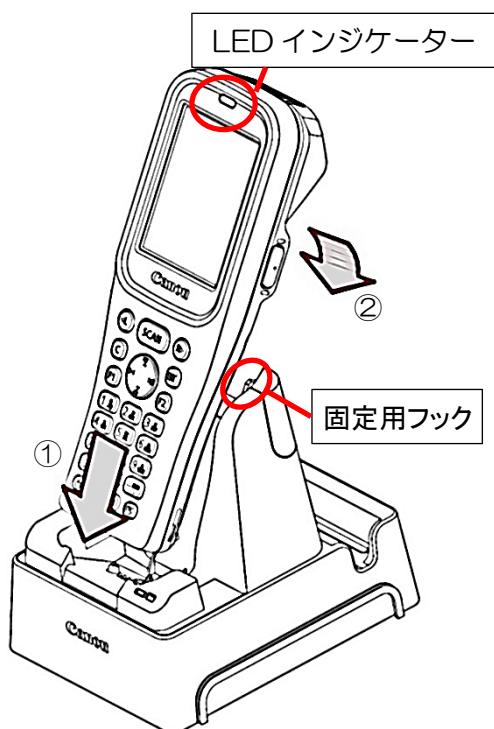
バッテリーパックの充電

HTに取り付けられたバッテリーパックを充電する

1. HT にバッテリーパックを取り付けてください。
2. HT を USB 通信クレードルにセットしてください。



- HTとUSB通信クレードルの電気接点の位置を確認してください。



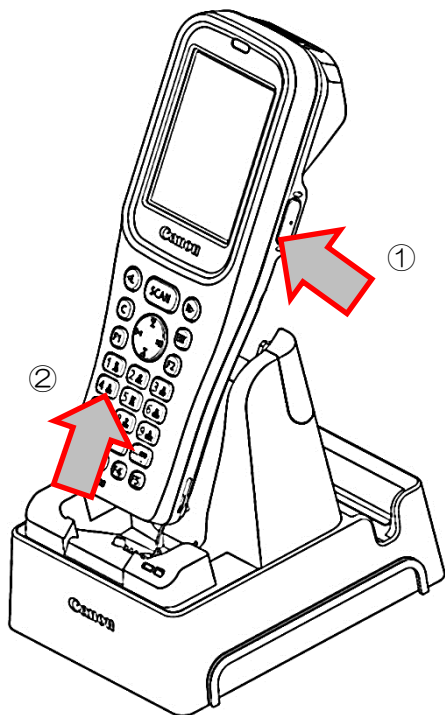
- ①. HTの電気接点にUSB通信クレードルの電気接点が接触するように、HTをUSB通信クレードルに差し込んでください。
- ②. HTの裏面の固定用くぼみに、USB通信クレードルの固定用フックを合わせるようにセットしてください。HTのLEDインジケータが赤色に点灯し、充電を開始します。

USB通信クレードルに設置したHTのLEDインジケータ			
発光色	点灯状態	充電の状況	
赤色	点灯	充電中	HTに取り付けられているバッテリーパックが充電中であることを表しています。
緑色	点灯	充電完了	HTに取り付けられているバッテリーパックの充電が完了していることを表しています。

重要

- HTをUSB通信クレードルにセットするときは、HTのLEDインジケータが点灯するまで、しっかりと固定用くぼみに固定用フックをはめ込んでください。はめ込みが弱く固定が不十分な場合、充電が開始されずLEDインジケータが点灯しません。

3. 充電が完了したら HT を USB 通信クレードルから取り外してください。



HT の LED インジケーターが緑色の点灯に切り換わりましたら、バッテリーパックの充電が完了しています。
HT を USB 通信クレードルから取り外してください。

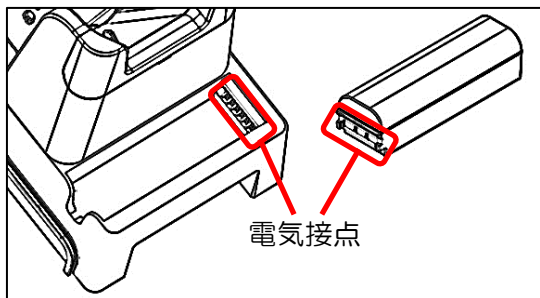
- ① 左の図のように HT を手前に少し倒してください。
HT の固定を解除することができます。
- ② HT を上に持ち上げて、USB 通信クレードルから取り外してください。

重要

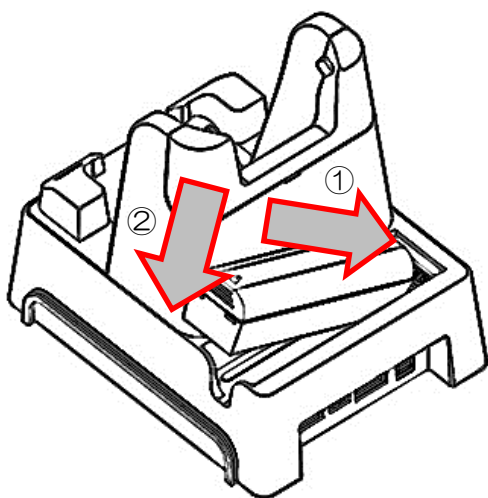
- USB 通信クレードルから HT を取り外すときは、必ず手で USB 通信クレードルをしっかりと押さえながら、HT を取り外してください。USB 通信クレードルを押さえずに HT を取り外そうとした場合、HT が USB 通信クレードルから外れずに一緒に持ち上がってしまったり、一緒に持ち上がった USB 通信クレードルが落下してしまったりする恐れがあります。

■ バッテリースロットでバッテリーパックを充電する

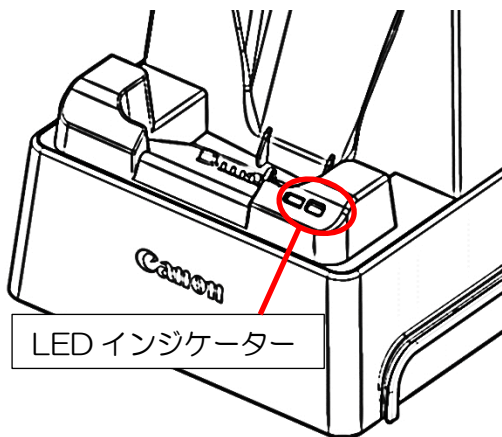
1. バッテリーパックをUSB 通信クレードルにセットしてください。



- バッテリーパックとUSB 通信クレードルのバッテリー スロットの電気接点の位置を確認してください。



- 左図のようにバッテリーパックをUSB 通信クレードルに取り付けてください。
 - ①. バッテリーパックの電気接点とUSB 通信クレードルの電気接点が接するように、バッテリーパックを差し込んでください。
 - ②. 「△」マークのある方を「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



- USB 通信クレードルのLED インジケータを確認してください。
LED インジケータが赤色に点灯し、充電を開始します。

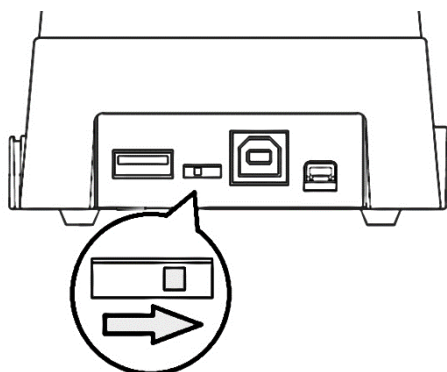
USB 通信クレードルのLED インジケータ			
発光色	点灯状態	充電の状況	
赤色	点灯	充電中	バッテリーパックが充電中であることを表しています。
緑色	点灯	充電完了	バッテリーパックの充電が完了していることを表しています。

2. 充電が完了したらバッテリーパックをUSB 通信クレードルから取り外してください。

USB 通信を使用する

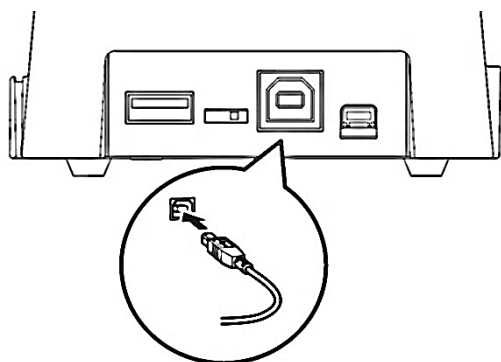
■ USB ケーブルによる PC との接続

1. USB 切換えスイッチを確認してください。



- 左の図のように、USB 切換えスイッチが矢印の方向（右側）にきていることを確認してください。もし、スイッチが左側にきていた時は、右側にスライドさせて切り換えてください。

2. USB ケーブルを使って USB 通信クレードルと PC を接続してください。

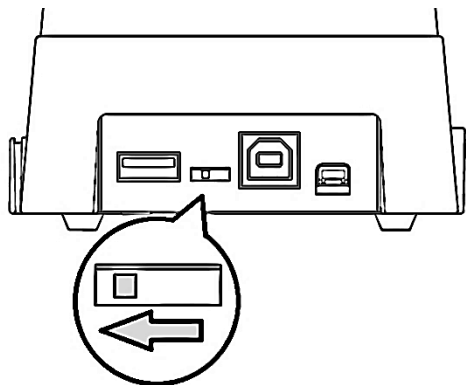


- ① 左の図のように、USB TypeB コネクターに USB ケーブル (B タイプ) を接続してください。
- ② USB ケーブルのもう片方のコネクターを PC に接続してください。

3. HT を USB 通信クレードルにセットしてください。

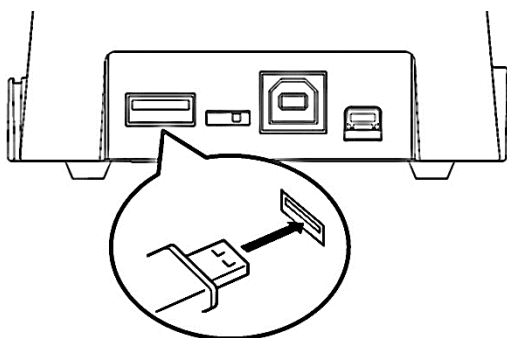
■ USB メモリーの接続

1. USB 切換えスイッチを確認してください。



- 左の図のように、USB 切換えスイッチが矢印の方向（左側）にきていることを確認してください。もし、スイッチが右側にきていた時は、左側にスライドさせて切り換えてください。

2. USB メモリーを接続してください。



左の図のように、USB TypeA コネクターに USB メモリーを接続してください。

6.4 連充電クレードル MC-15 を使用する

別売の4連充電クレードル MC-15（以下、4連充電クレードル）を使うことで、最大で4台のHTと4個のバッテリーパックの充電を行なうことができます。

4連充電クレードルの構成について

4連充電クレードルをご使用になる前に、次の機器と付属品が入っていることを確認してください。

①. 4連充電クレードル MC-15	1台
②. ACアダプター	1本
③. 電源コード	1本
④. 注意事項（紙）	1枚

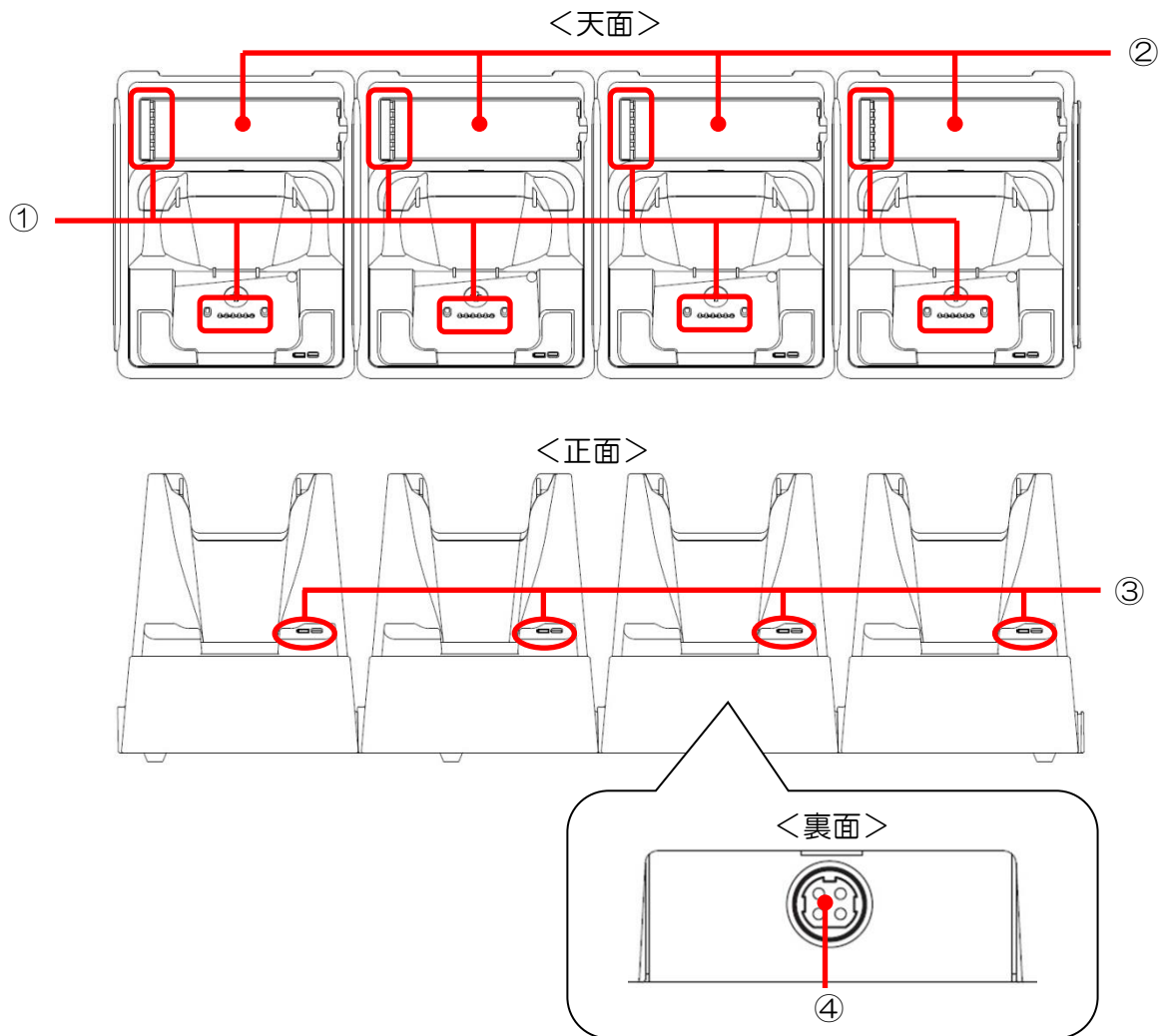
重要

- 実際に使用するときの充電量は、3.5時間でフル充電に対して約85%を目安にしてください。なお、この充電方法でフル充電することはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 電気接点（充電・通信端子）は、HTの着脱によって劣化します。着脱回数が45000回を超えた場合は、新しい4連充電クレードルのお買い求めをお勧めします。
- 4連充電クレードルは、バッテリーパックの充電以外の目的で使用しないでください。
- USB通信クレードルのバッテリースロットの電気接点（充電・通信端子）は、バッテリーパックの抜き差しによって劣化します。挿抜回数が3000回を超えた場合は、4連充電クレードルのお買い求めをお勧めします。
- バッテリーパックをHTから取り外して充電するときは、予備のバッテリーパックをHTにセットしておくか、スタートメニューから「シャットダウン」を選択し、電源をシャットダウンしてください（P.18）。バックアップバッテリーがフル充電されていても、サスペンド状態で予備のバッテリーパックをHTに取り付けていない場合は、RAMの情報の保持時間は最大で約30分間となります。
また、同じくバックアップバッテリーがフル充電されていても、シャットダウン状態で予備のバッテリーパックをHTに取り付けていない場合に、カレンダーと時計の情報の保持時間は最大で約24時間となります。

注意

- 4連充電クレードルからHTを取り外すときは、必ず手で4連充電クレードルをしっかりと押さえながら、HTを取り外してください。4連充電クレードルを押さえずにHTを取り外そうとした場合、HTが4連充電クレードルから外れずに一緒に持ち上がったり、一緒に持ち上がった4連充電クレードルが落下してしまったりする恐れがあります。
- 4連充電クレードルを移動させる際は、必ず4連充電クレードルを持ち上げてから移動させてください。
4連充電クレードルを持ち上げずに接地面に置いたまま水平方向に移動させてしまった場合、底面の固定用ゴム（ゴム足）がはがれてしまう可能性があります。

各部の名称と機能



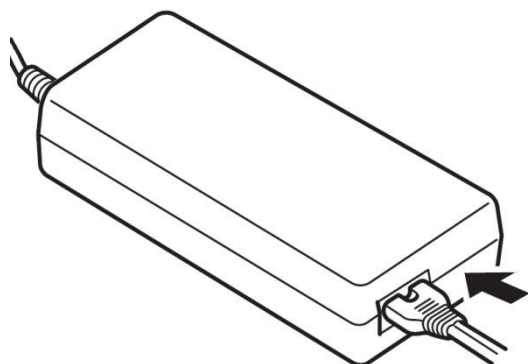
①	充電端子	HT やバッテリーパックの充電を行なう時に使用します。
②	バッテリースロット	バッテリーパックを取り付けて充電します。
③	LEDインジケーター	バッテリースロットでバッテリーパックを充電する時に LED が点灯します。 ● 赤色点灯：充電中 ● 緑色点灯：充電完了
④	電源コネクター	AC アダプターのプラグを接続します。 ※正面向かって右から 2 番目の置台の裏面にあります。

4 連充電クレードルの設置方法

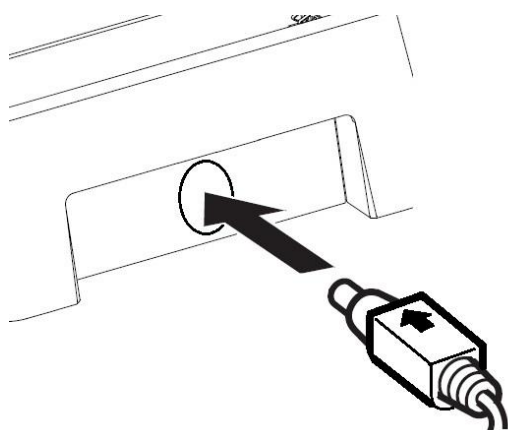
重要

- 4 連充電クレードルを使用する際は、必ず以下の設置方法で設置してから使用してください。なお、本章での使用説明は、すべて設置された状態を前提に記載しております。

■ 4 連充電クレードルに AC アダプターを接続する



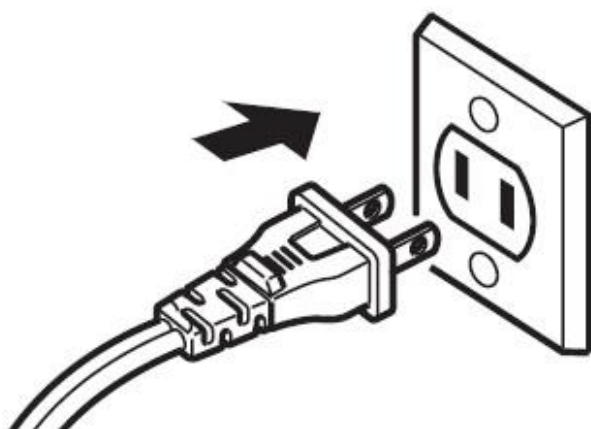
- ① AC アダプターに電源コードを接続してください。



- ② AC アダプターのプラグを 4 連充電クレードルの電源コネクタに接続してください。

注意

- AC アダプターのプラグは、必ず矢印マークのある面を上にしてクレードルの電源コネクタに接続してください。誤った向きで接続しようとすると故障の原因になります。

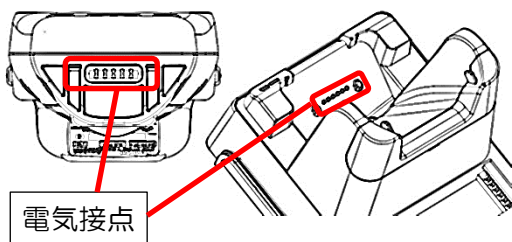


- ③ 電源コードをコンセントに接続してください。

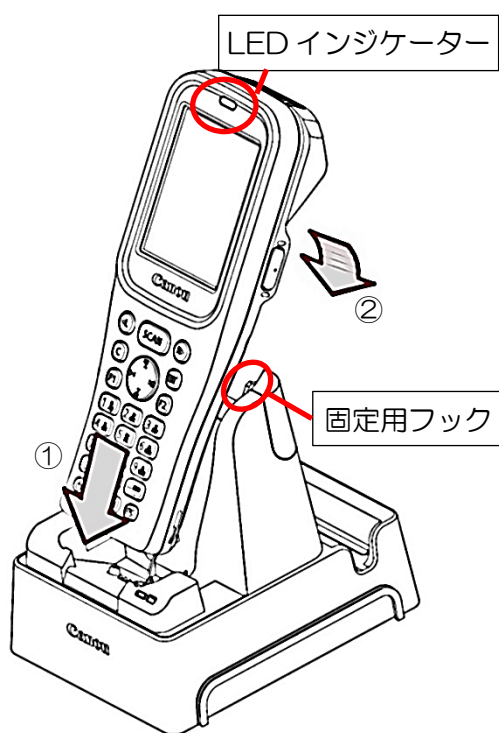
バッテリーパックの充電

HTに取り付けられたバッテリーパックを充電する

1. HTにバッテリーパックを取り付けてください。
2. HTを4連充電クレードルにセットしてください。



- HTと4連充電クレードルの電気接点の位置を確認してください。



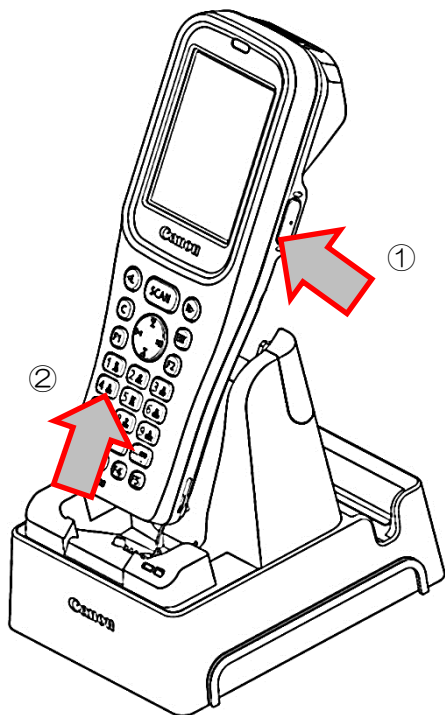
- ① HTの電気接点に4連充電クレードルの電気接点が接触するように、HTを4連充電クレードルに差し込んでください。
- ② HTの裏面の固定用くぼみに、4連充電クレードルの固定用フックを合わせるようにセットしてください。HTのLEDインジケータが赤色に点灯し、充電を開始します。

4連充電クレードルに設置したHTのLEDインジケータ			
発光色	点灯状態	充電の状況	
赤色	点灯	充電中	HTに取り付けられているバッテリーパックが充電中であることを表しています。
緑色	点灯	充電完了	HTに取り付けられているバッテリーパックの充電が完了していることを表しています。

※重要

- HTを4連充電クレードルにセットするときは、HTのLEDインジケータが点灯するまで、しっかりと固定用くぼみに固定用フックをはめ込んでください。はめ込みが弱く固定が不十分な場合、充電が開始されずLEDインジケータが点灯しません。

3. 充電が完了したらHTを4連充電クレードルから取り外してください。



HTのLEDインジケーターが緑色の点灯に切り換わりましたら、バッテリーパックの充電が完了しています。HTを4連充電クレードルから取り外してください。

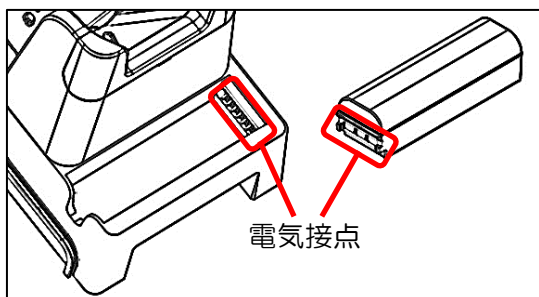
- ① 左の図のようにHTを手前に少し倒してください。HTの固定を解除することができます。
- ② HTを上を持ち上げて、4連充電クレードルから取り外してください。

重要

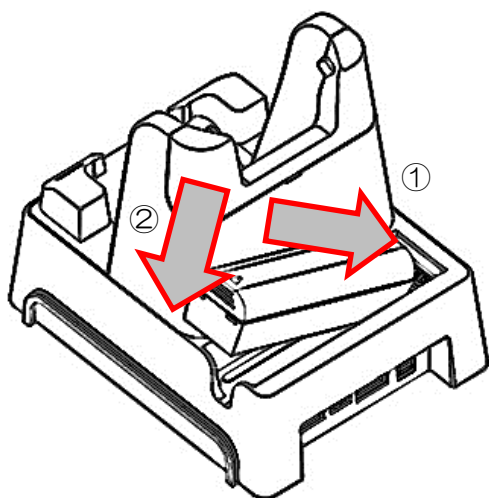
- 4連充電クレードルからHTを取り外すときは、必ず手で4連充電クレードルをしっかりと押さえながら、HTを取り外してください。4連充電クレードルを押さえずにHTを取り外そうとした場合、HTが4連充電クレードルから外れずに一緒に持ち上がってしまったり、一緒に持ち上がった4連充電クレードルが落下してしまったりする恐れがあります。

■ バッテリースロットでバッテリーパックを充電する

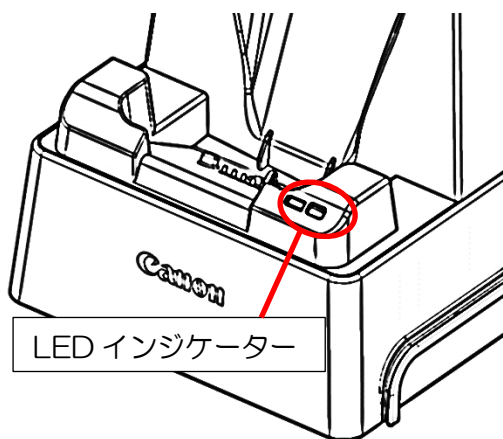
1. バッテリーパックを4連充電クレードルにセットしてください。



- バッテリーパックと4連充電クレードルのバッテリースロットの電気接点の位置を確認してください。



- 左図のようにバッテリーパックを4連充電クレードルに取り付けてください。
 - ①. バッテリーパックの電気接点と4連充電クレードルの電気接点が接するように、バッテリーパックを差し込んでください。
 - ②. 「△」マークのある方を「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



- 4連充電クレードルのLEDインジケーターを確認してください。
LEDインジケーターが赤色に点灯し、充電を開始します。

4連充電クレードルのLEDインジケーター			
発光色	点灯状態	充電の状況	
赤色	点灯	充電中	バッテリーパックが充電中であることを表しています。
緑色	点灯	充電完了	バッテリーパックの充電が完了していることを表しています。

2. 充電が完了したらバッテリーパックを4連充電クレードルから取り外してください。

7. 無線通信機能を使用する

無線 LAN 通信

HT には無線 LAN 通信機能が搭載されています。無線 LAN 規格に対応したアクセスポイントなどの機器とワイヤレスで通信することが可能です。

● セキュリティについて

無線 LAN 機能を使用するときは暗号化する設定を行なうことをお勧めします。詳しくはお買い上げの販売店または担当営業までお問い合わせください。



IEEE802.11a/n の W52、W53 は電波法により屋外での使用が禁じられています。

Bluetooth 通信

本機には Bluetooth 機能が搭載されています。Bluetooth 規格に対応したコンピューター等の機器とワイヤレスでの通信が可能です。



- Bluetooth 機能は、すべての Bluetooth 機器との通信を保証するものではありません。

8. メモリーカードを使用する

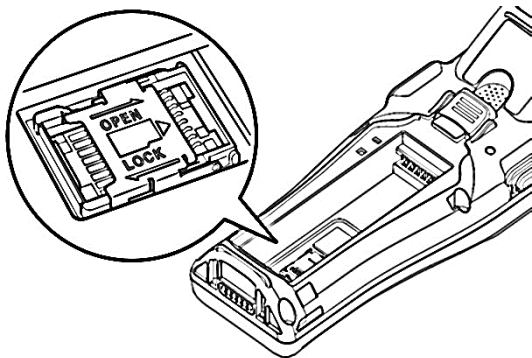
HTにはmicroSDカードスロットを標準装備しています。microSDカード（以下、メモリーカード）に保存してあるデータを読み出したり、書き込んだりすることができます。

重要

- メモリーカードを取り付けるときは、取り付ける方向をあらかじめ確認してから取り付けてください。無理に間違った方向に取り付けると、本体及びメモリーカードの故障や損傷の原因になります。
- 頻繁にメモリーカードを抜き差ししないでください。本体がカードを誤認識したりデータが失われる場合があります。
- メモリーカードスロットの端子部には触れないようにしてください。
- メモリーカードの説明については、カードに付属の使用説明書を参照してください。
- メモリーカードは同じ型式のものでも、データの書き込み速度が大きく違うものがあります。

■メモリーカードを取り付ける

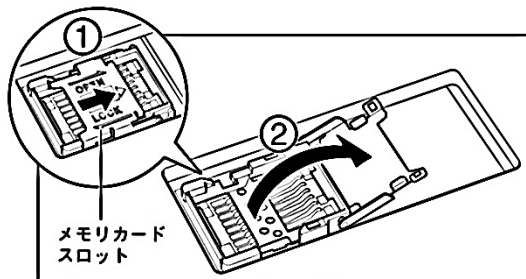
1. バッテリーカバーを取り外してください。



- バッテリーカバーとバッテリーパックを取り外してください。

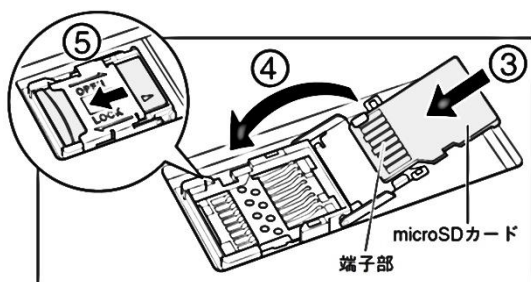
内側にメモリーカードスロットがあります。

2. メモリーカードスロットを開いてください。



- ①. メモリーカードスロットを開くときは、メモリーカードスロット上面に記されている「OPEN」の方向にスライドさせてください。
- ②. 矢印のとおりスロット部を開いてください。

3. メモリーカードを取り付けてください。



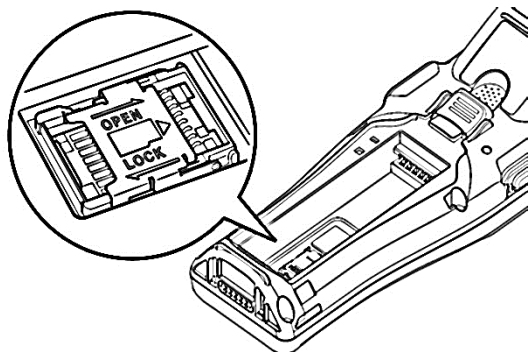
- ③ 図のように、メモリーカードの端子部を上にしてメモリーカードをメモリーカードスロットに差し込んでください。
- ④ 矢印のとおりスロット部を閉じてください。
- ⑤ 最後にメモリーカードスロットの上面に記されている「LOCK」の方向にスライドさせてください。

- * メモリーカードは必ずカードスロットの上面に記しているカードの挿入方向に従って正しい向きで差し込んでください。誤った向きで差し込んだ場合、HTの故障の原因となります。
- * メモリーカードを差し込む際は、奥までしっかりと差し込んでください。

4. バッテリーカバーを取り付けてください。

■メモリーカードを取り外す

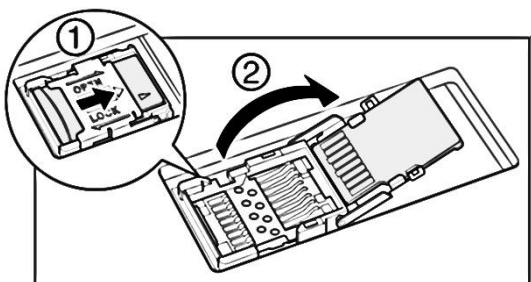
1. バッテリーカバーを取り外してください。



- バッテリーカバーとバッテリーパックを取り外してください。
(バッテリーパックが取り付けられている場合は、バッテリーパックも取り外してください。)

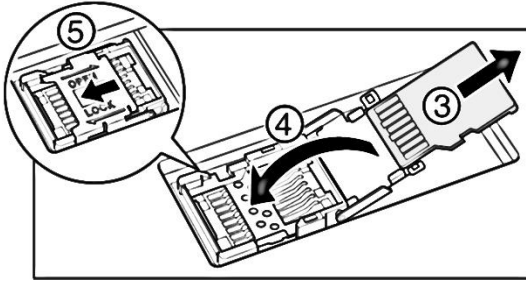
内側にメモリーカードスロットがあります。

2. メモリーカードスロットを開いてください。



- ① メモリーカードスロットを開くときは、メモリーカードスロット上面に記されている「OPEN」の方向にスライドさせてください。
- ② 矢印のとおりスロット部を開いてください。

3. メモリーカードを取り外してください。



- ③. 図のように、メモリーカードをメモリーカードスロットから取り外してください。
- ④. 矢印のとおりスロット部を閉じてください。
- ⑤. 最後にメモリーカードスロットの上面に記されている「LOCK」の方向にスライドさせてください。

5. バッテリーカバーを取り付けてください。



- メモリーカードを取り付けた後、HT がメモリーカードを認識するまで数秒かかります。

9. こんなときには

Q HT が起動しない。

- A**
- ①. バッテリーパックは、正しく HT に取り付けられていますか？
「バッテリーパックの取り付け」(P.14)を確認してください。
 - ②. バッテリーパックの電池残容量は充分ですか？
電池残容量がある一定の値以下に下がると、HT は起動しません。
バッテリーパックを充電してください。

Q 電池残容量を確認 (P.21) したときに、「バックアップ 배터리：残りわずか」と表示される。

- A**
- バックアップバッテリーの電圧がある一定の値以下に下がっています。
十分に充電されたバッテリーパックを、HT に取り付けてください。これで、バックアップバッテリーは、自動的に充電されます。
それでも表示が変わらない場合は、交換の時期が近づいています。お買い上げの販売店または担当営業にお問い合わせください。

Q 液晶画面に何も表示されない。

- A**
- ①. 液晶画面の上にある LED インジケータの点灯状態をご確認ください。
 - 緑色で点滅していれば、液晶画面がオフモードになっていることを表しています。液晶画面のタッチパネルにタッチするか、テンキーを押してください。
 - 赤色で点滅していれば、サスペンド状態になっていることを表しています。電源キーを押してください。
 - 点灯・点滅していなければ、シャットダウン状態にあります。電源キーを押してください。
 - ②. バッテリーパックは、正しく本体に取り付けられていますか？
 - 「バッテリーパックの取り付け方」(P.14)を確認してください。
 - ③. バッテリーパックは、十分に充電されていますか？
電池残容量がある一定の値以下に下がると、HT は起動しません。
バッテリーパックを充電してください。

Q 液晶画面の画面表示が暗い。

A 液晶画面の画面表示の明るさはシステムの設定によって変更することができます。設定方法につきましては、システム管理者にご相談ください。

Q HT をクレードルに置いて充電しているときに、HT の LED インジケータが点灯しない。

- A**
- ①. HT が正しくクレードルに取り付けられているか確認してください。
「HT に取り付けられたバッテリーパックを充電する」（USB 通信クレードルの場合は P.30、4 連充電クレードルの場合は P.38）を確認してください。
 - ②. 正しく取り付けられているにもかかわらず LED インジケータが点灯しない場合は、充電中の HT をクレードルから一度取り外し、再度取り付け直してください。
 - ③. 再度 HT を取り付け直しても LED インジケータが点灯しない場合は、HT からバッテリーパックを取り外し、クレードルの裏面にあるバッテリースロットでバッテリーパックを充電してください。
「バッテリースロットでバッテリーパックを充電する」（USB 通信クレードルの場合は P.32、4 連充電クレードルの場合は P.40）を確認してください。

Q バッテリーパックをクレードルに取り付けて充電しているときに、クレードルの LED インジケータが点灯しない。

- A**
- ①. バッテリーパックが正しくクレードルのバッテリースロットに取り付けられているか確認してください。
「バッテリースロットでバッテリーパックを充電する」（USB 通信クレードルの場合は P.32、4 連充電クレードルの場合は P.40）を確認してください。
 - ②. 正しく取り付けられているにもかかわらず LED インジケータが点灯しない場合は、充電中のバッテリーパックをバッテリースロットから一度取り外した後、再度バッテリースロットに取り付け直してください。

Q 充電の最中にバッテリーパック、USB 通信クレードルまたは 4 連充電クレードルが少し熱を帯びる。

A 充電時には機器に熱を帯びることがありますが、異常や故障ではありません。

Q

新品のバッテリーパックなのに使用できる時間が短い。

A

はじめて使用するバッテリーパックは、バッテリーパックの特性により十分に充電しても使用時間が短いことがあります。異常や故障ではありません。数回充放電を繰り返すことにより、所定の時間使用できるようになります。

Q

長い期間保管していたバッテリーパックが使用できない、また使用できる時間が短い。

A

バッテリーパックを長い期間保管した後にご使用になる場合には、バッテリーパックの特性によりご使用になれなくなったり、十分に充電しても使用時間が短くなったりすることがあります。異常や故障ではありません。定期的に充電／放電することをお勧めします。

なお、長い期間保管していたバッテリーパックを充電する際、HT に装着しての充電が開始されない場合には、バッテリーパック単体で充電してください。「バッテリースロットでバッテリーパックを充電する」(CR-15U の場合は P.32、4 連充電クレードルの場合は P.40)を確認してください。

Q

本体が正しく動作しない、または全く動作しない。

A

- ①. バッテリーパックは、正しく本体に取り付けられていますか？
「バッテリーパックの取り付け」(P.14)を確認してください。
- ②. バッテリーパックは、十分に充電されていますか？
バッテリーパックを充電してください。

Q

本体の電源がオフにならない。

A

- ①. アプリケーションが電源オフにできない状態になっている場合があります。システム管理者にご連絡ください。
- ②. システムに異常が発生している可能性があります。本体裏面のリセットスイッチ(P.11)の穴に、先端の細い物を押し込んでください。
 - リセットスイッチを押すと強制リセット(ソフトリセット)され、さらに5秒以上長押しすると強制シャットダウン(ハードリセット)されます。
 - 強制リセット(ソフトリセット)は、RAMの情報を保持した状態で本体の電源を強制終了し再起動させることができます。
 - 強制シャットダウン(ハードリセット)は、RAMの情報は保持せずに本体の電源をシャットダウンします。(作業中のデータは保証されません。)

10. 製品仕様

基本仕様

製品名称		キヤノン ハンディターミナル プレア	
機種名		ST-300L (レーザーキャナーモデル)	ST-300S (2次元コードキャナーモデル)
CPU		ARM Cortex-A8 800MHz	
OS		Windows® Embedded Compact 7	
メモリー		256 MB RAM / 256 MB FLASH DISK ※1	
表示部	使用素子	2.7型TFTカラーLCD (バックライト付き)	
	画面表示ドット数	240×320ドット (QVGA)	
	表示文字種	漢字(JIS第1、第2水準)、英数、カナ、記号、外字、特殊文字、NEC/IBM拡張文字フォント	
入力部	タッチパネル	感圧式タッチパネル (ノングレア)	
	キー	テンキー部 : 22キー (F1~F5キー、電源キー、携帯電話配列テンキー12、Lキー、Rキー、Clearキー、ENTキー) 中央キー : 上下左右キー トリガーキー : 正面、左右	
	その他	LED照光機能	
	方式	半導体レーザー	モノクロCMOSエリアセンサー (1280×800 約100万画素) オートフォーカス対応
スキャナー部	最小分解能	0.127mm、	0.076mm (Code39の場合) 0.127mm (QRコードの場合)
	読取距離	60~120mm (細バー幅0.127mm) ※2 70~650mm (細バー幅1.000mm) ※2	150~1650mm (Code39、 分解能1.016mmの場合) 75~280mm (QRコード、 分解能0.381mmの場合)
	読取コントラスト	PCS 0.45以上	PCS0.2以上
	対応コード	UPC A / E、EAN / JAN-8、EAN / JAN-13、Code128 (GS1-128)、Code39、Code93、ITF、DTF、CODABAR (NW-7)、MSI、GS1-DataBar	UPC A/E、EAN/JAN-8、AN/JAN-13、Code128 (GS1-128)、Code39、Code93、ITF、DTF、Codabar (NW-7)、MSI、GS1 -Databar、QRコード、MircoQRコード、連結QRコード、PDF417、MicroPDF417、DataMatrix、MaxiCode
	OCR	—	OCR-B

電源	主電源	充電式リチウムイオン電池 バッテリーパックBA-20 (仕様は「消耗品／オプション一覧」の「リチウムイオンバッテリーパックBA-20」(p.51)をご確認ください。)
	副電池	ボタン型ニッケル水素電池 電圧 : 2.4V 容量 : 15mAh 充電方式 : 充電されたバッテリーパックより自動的に充電 充電時間 : 14時間以上 (常温) 寿命 : 約3年 (使用状況により異なる) 保持時間 : 約30分間※3 (サスペンド状態: バッテリーパックなし)
	運用時間	約30時間 ※3 (社) 電子情報技術産業会 (JEITA) HT 標準動作モードA で測定
消費電力	使用時	約0.7W (キー入力待ち) ~ 最大約4W
	保管時	サスペンド時 : 約30mW シャットダウン時 : 約10mW
本体寸法 (突起部除く) ※2		幅: 約62mm x 長さ: 約173mm x 高さ: 約44mm
質量 (バッテリー含む) ※2		約225g

※1 : 一部管理領域を含みます。

※2 : バーコードの長さや種類により変わります。

※3 : 搭載する機能により異なります。

予告なく製品の仕様を変更することがあります。

■ インターフェース

無線LAN	周波数帯域	2400MHz ~ 2497MHz 1ch ~ 13ch 5150MHz ~ 5350MHz W52、W53 5470MHz ~ 5725MHz W56	
	対応規格	IEEE802.11a/b/g/n	
	変調方式	IEEE802.11a/g/n	OFDM
		IEEE802.11b	DSSS
	通信レート	IEEE802.11a/g	最大 54Mbps
		IEEE802.11b	最大 11Mbps
		IEEE802.11n (2.4GHz 帯)	最大 75Mbps
IEEE802.11n (5GHz 帯)		最大 150Mbps	
Bluetooth	周波数帯域	2.4GHz 帯 (2.400 ~ 2.4835GHz)	
	変調方式	FH-SS 方式	
	対応規格	Bluetooth 標準規格Ver2.1+EDR	
	出力クラス	Power Class2	
	対応プロファイル	SPP	
	通信レート	最大1Mbps	
USB	USB2.0 ホスト・クライアント、Full Speed ※ USB通信クレードルCR-15U使用时		
	信号名	VBUS、USB D ⁻ 、USB D ⁺ 、ID、GND	
	通信速度	Full Speed 12Mbps	
SDカード	microSD Card Slot×1 SDHC対応、Max.32GB		

予告なく製品の仕様を変更することがあります。

■ 使用環境

耐環境性	防水・防塵性能	IEC529 IP64準拠
	温度・湿度	動作：-10~50℃、5~90%RH 保存：-20~60℃、5~95%RH（結露なきこと）

予告なく製品の仕様を変更することがあります。

11. 消耗品/オプション一覧

消耗品

バッテリーパックBA-20	
使用電池	充電式リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	3000mAh
充電方法	USB 通信クレードル CR-15U または 4 連充電クレードル MC-15 を使用
充電時間	<p>○USB通信クレードルCR-15U を使用した場合（常温下でのフル充電）</p> <ul style="list-style-type: none">• 本体装着時の充電 : 約3.5~6時間• CR-15U予備バッテリースロットによる充電 : 約5~7時間 <p>*充電時間は、USB インターフェースの動作状態、ST-300の動作状態、充電開始時の残量、周囲環境（温度）等により変わります。</p> <p>○4連充電クレードル MC-15 を使用した場合（常温下でのフル充電）</p> <ul style="list-style-type: none">• 本体装着時の充電 : 約3.5時間（1台あたり）• MC-15予備バッテリースロットによる充電 : 約5~6.5時間（1台あたり） <p>*充電時間は、ST-300の動作状態、充電開始時の残量、周囲環境（温度）等により変わります。</p>
寸法	約23.4mm(幅)×約74mm(長さ)×約20.4mm(高さ)
質量	約60g

予告なく製品の仕様を変更することがあります。

オプション品

■ 充電・通信関連品

USB通信クレードルCR-15U		
電源	100V~240V 50/60Hz	
定格入力容量	DC6V 2A	
定格出力	<ul style="list-style-type: none"> ・ ST-300 接続側 : DC5.4V 1.5A ・ 予備バッテリースロット : DC4.35V 1.0A 	
充電可能温度	0℃~40℃（推奨は10℃~30℃）	
充電時間	常温下でのフル充電 <ul style="list-style-type: none"> ・ ST-300装着時の充電 : 約3.5~6時間 ・ CR-15U予備バッテリースロットによる充電 : 約5~7時間 * 充電時間は、USB インターフェースの動作状態、ST-300の動作状態、充電開始時の残量、周囲環境（温度）等により変わります。	
USBインターフェース (Type A)	規格	USB2.0 Full Speed
	端子	VBUS, USB D+, USB D-, GND
USBインターフェース (Type B)	規格	USB2.0 Full Speed
	端子	VBUS, USB D+, USB D-, GND
寸法	約97.4mm(幅) × 約121.2mm(奥行) × 約113.5mm(高さ)	
質量	約280g	
USB通信クレードル用ACアダプター		
定格入力容量	AC100V 50/60Hz 29VA	
定格出力	DC6V 2A	
寸法	約51mm(幅) × 約75mm(長さ) × 約30mm(高さ) *電源コード部除く	
質量	約170g (電源コード含む)	
電源コード長	約1m	

予告なく製品の仕様を変更することがあります。

4連充電クレードルMC-15	
電源	100V~240V 50/60Hz
定格入力容量	DC24V 2A
定格出力	<ul style="list-style-type: none"> • ST-300 接続側 : DC5.4V 1.5A × 4 • 予備バッテリー slots : DC4.35V 1.0A × 4
充電可能温度	0°C~40°C (推奨は10°C~30°C)
充電時間	常温下でのフル充電 <ul style="list-style-type: none"> • ST-300装着時の充電 : 約3.5時間 (1台あたり) • MC-15予備バッテリー slotsによる充電 : 約5~6.5時間 (1台あたり) *充電時間は、ST-300の動作状態、充電開始時の残量、周囲環境 (温度) 等により変わります。
寸法	約381.8mm(幅) × 約121.2mm(奥行) × 約113.7mm(高さ)
質量	約1090g
4連充電クレードル用ACアダプター	
定格入力容量	100-240V 50/60Hz 1.06A-0.6A
定格出力	DC24V 2A
寸法	約67mm(幅) × 約133mm(長さ) × 約36mm(高さ) *電源コード部除く
質量	約310g (電源コード含む)
電源コード長	約1m

予告なく製品の仕様を変更することがあります。

Canon
キヤノン電子株式会社

お問い合わせ先

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 TEL(03)6719-9847



製品はリチウムイオン電池を使用しています。
リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください